

# 印西地区環境整備事業組合

## 次期中間処理施設整備事業用地検討委員会

### 第15回会議 確認資料

#### 目次

#### 次第3 候補地の3次審査（案）について

No. 14	周辺住民の理解度・協力度・・・	1
No. 15	経済性・・・・・・・・・・・・・・	2
No. 16	地域社会貢献・・・・・・・・・・・・	10

平成26年 9月 7日

### 評価の積上げ

集計(積上げ)	① (2)	② (2)	③ (2)	④ (3)	⑤ (3)	⑥ (8)	⑦ (20)	①~⑥ (20)	⑦ (20)	合計
岩戸	0.0	13.2	12.8	15.6	14.4	54.4	0.0	110.4	0.0	110.4
造谷	0.0	16.0	15.6	19.8	20.4	72.0	0.0	143.8	0.0	143.8
柏木台	0.0	17.6	18.4	31.8	31.8	92.8	0.0	192.4	0.0	192.4
大廻	0.0	18.0	17.2	17.4	17.4	60.8	0.0	130.8	0.0	130.8
滝	0.0	13.6	13.6	15.6	15.6	52.8	0.0	111.2	0.0	111.2
宗甫	0.0	14.8	14.0	12.0	12.0	33.6	0.0	86.4	0.0	86.4
滝野地区連合会	0.0	12.8	11.2	6.6	6.6	22.4	0.0	59.6	0.0	59.6
武西	0.0	12.0	12.0	12.6	12.6	43.2	0.0	92.4	0.0	92.4
戸神	0.0	14.4	15.6	13.2	15.6	46.4	0.0	105.2	0.0	105.2
吉田	30.0	24.8	25.6	42.0	41.4	113.6	300.0	277.4	300.0	577.4
松崎3	0.0	15.6	15.6	23.4	25.2	78.4	0.0	158.2	0.0	158.2
松崎区	0.0	13.6	13.2	14.4	15.6	57.6	0.0	114.4	0.0	114.4
アビック21	0.0	15.2	12.4	12.6	15.6	44.8	0.0	100.6	0.0	100.6
サンクタス中央	0.0	16.4	14.0	10.8	15.0	41.6	0.0	97.8	0.0	97.8

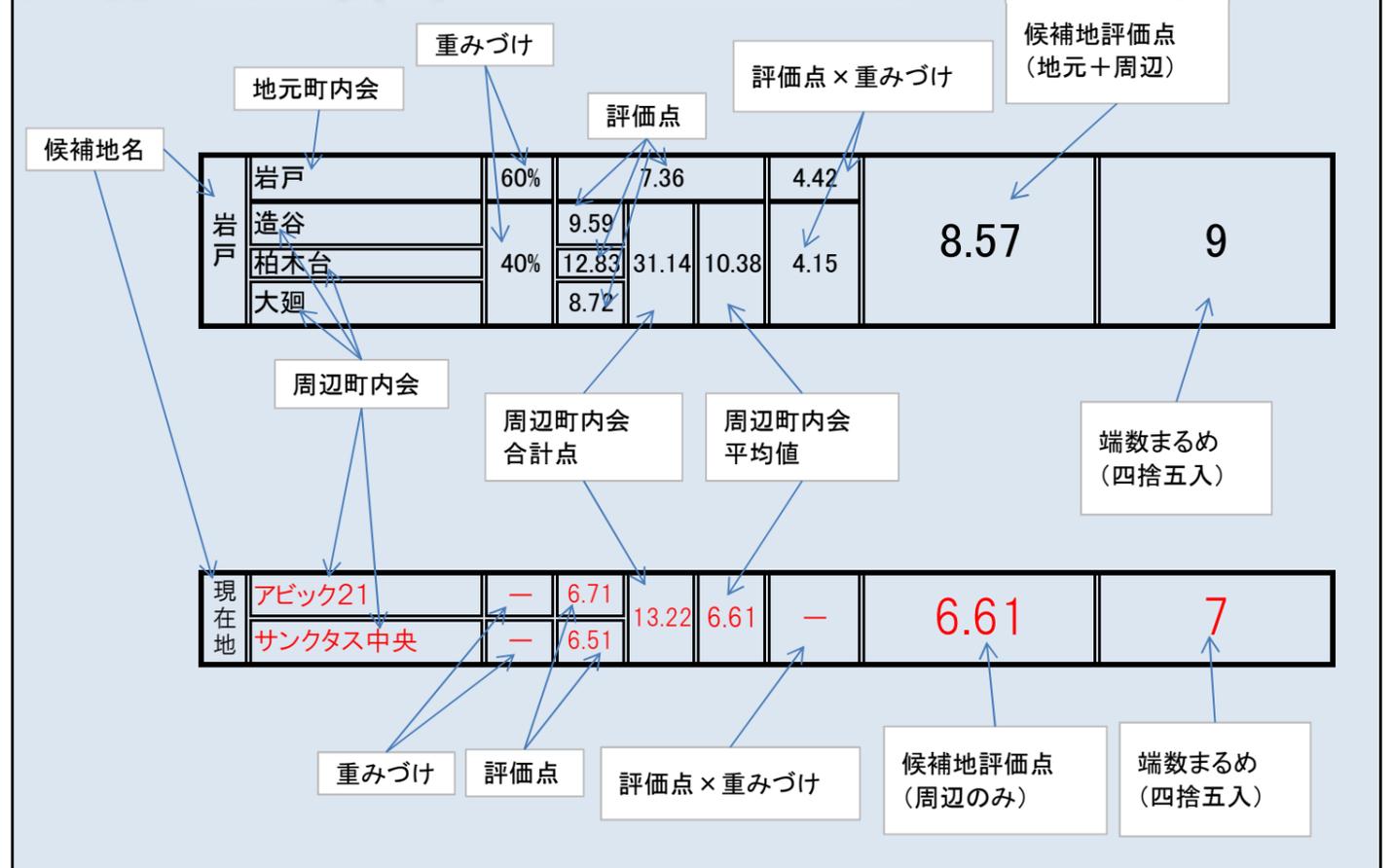
### 評価の積上げ⇒平均値へ(各町内会の評価点)

集計(平均値)	① (2)	② (2)	③ (2)	④ (3)	⑤ (3)	⑥ (8)	⑦ (20)	①~⑥ (20)	⑦ (20)	合計
岩戸	0.00	0.88	0.85	1.04	0.96	3.63	0.00	7.36	0.00	7.36
造谷	0.00	1.07	1.04	1.32	1.36	4.80	0.00	9.59	0.00	9.59
柏木台	0.00	1.17	1.23	2.12	2.12	6.19	0.00	12.83	0.00	12.83
大廻	0.00	1.20	1.15	1.16	1.16	4.05	0.00	8.72	0.00	8.72
滝	0.00	0.91	0.91	1.04	1.04	3.52	0.00	7.42	0.00	7.42
宗甫	0.00	0.99	0.93	0.80	0.80	2.24	0.00	5.76	0.00	5.76
滝野地区連合会	0.00	0.85	0.75	0.44	0.44	1.49	0.00	3.97	0.00	3.97
武西	0.00	0.80	0.80	0.84	0.84	2.88	0.00	6.16	0.00	6.16
戸神	0.00	0.96	1.04	0.88	1.04	3.09	0.00	7.01	0.00	7.01
吉田	2.00	1.65	1.71	2.80	2.76	7.57	20.00	18.49	20.00	38.49
松崎3	0.00	1.04	1.04	1.56	1.68	5.23	0.00	10.55	0.00	10.55
松崎区	0.00	0.91	0.88	0.96	1.04	3.84	0.00	7.63	0.00	7.63
アビック21	0.00	1.01	0.83	0.84	1.04	2.99	0.00	6.71	0.00	6.71
サンクタス中央	0.00	1.09	0.93	0.72	1.00	2.77	0.00	6.51	0.00	6.51

### 各町内会評価点⇒候補地評価点(重みづけを考慮して)

岩戸	岩戸	60%	7.36			4.42	8.57	9
	造谷	40%	9.59	31.14	10.38	4.15		
	柏木台		12.83					
	大廻		8.72					
滝	滝	60%	7.42			4.45	6.40	6
	宗甫	40%	5.76	9.73	4.87	1.95		
	滝野地区連合会		3.97					
武西	武西	60%	6.16			3.70	6.50	7
	戸神	40%	7.01	—	—	2.80		
吉田	吉田	60%	38.49			23.09	26.73	27
	松崎3	40%	10.55	18.18	9.09	3.64		
	松崎区		7.63					
現在地	アビック21	—	6.71	13.22	6.61	—	6.61	7
	サンクタス中央	—	6.51	—	—	—		

### 凡例 候補地(岩戸/滝/武西/吉田は重みづけ(地元:60% 周辺40%)) (現在地は重みづけ(周辺50%))



3次審査 No.15 経済性(案)

No.	最大加点	大項目	最大加点	小項目	評価の考え方	加点
	30点		30点			
15	30点	経済性	30点	概算事業費	用地取得費用、基盤整備費用及び30年間分の収集運搬費用から収益費用を差し引いた概算事業費が安価な候補地が望ましい。	0～30点

単位：円

項目		細目	岩戸地区	滝地区	武西地区	吉田地区	現在地	算出方法	
1	用地取得費用		90,370,000	180,000,000	175,390,000	92,090,000		現在地の不動産鑑定（意見書）1,783,000,000円	
2	基盤整備費用	①伐採・除根等及び処分費	64,500,000	54,180,000	42,054,000	18,834,000	8,188,000	伐採面積から撤去及び処分費を計上 現在地は、As舗装処分費（テニスコート含む）を計上	
		②解体工事費（現在地）	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	1,000,000,000	666,667,000	解体工事費は10億円を想定していますが、現在地で建替た場合は、対象工事（外構工事等除く）の3分の1が、国の補助金で賄うことが可能です。	
		③造成工（切土、盛土、法面整形、緑化）	68,052,000	18,060,000	70,320,000	95,190,000	40,800,000	概略造成図から数量を算出し施工費を計上	
		④ブロック積擁壁及び地盤改良※1	1,201,000,000	966,300,000	1,531,800,000	1,143,300,000	769,500,000		
		⑤防災調整池工※2	33,800,000	33,800,000	35,100,000	36,400,000	0	0	用地取得面積から防災調整池の大きさを算定し、施工費を計上
		⑥アクセス道路整備費	23,140,000	0	0	44,235,000	0	0	アクセス道路の延長を算出し施工費と用地取得費用を計上
		⑦ユーティリティ（上水道、下水道）※3	23,600,000	49,780,000	2,028,000	131,820,000	0	0	上下水道の引き込み施工費を計上
		直接工事費計	2,414,092,000	2,122,120,000	2,681,302,000	2,469,779,000	1,485,155,000		
諸経費※4	1,207,046,000	1,061,060,000	1,340,651,000	1,234,889,000	742,577,000		直接工事費計×50%で計上（千円未満切り捨て）		
	直接工事費計+諸経費	3,621,138,000	3,183,180,000	4,021,953,000	3,704,668,000	2,227,732,000			
3	30年間分の収集運搬費用		199,300,000	175,600,000	178,800,000	197,300,000	167,400,000	No.9で算出した収集運搬車の走行距離×燃料費×30年で計上	
4	収益費用							計画施設は、高効率発電を基本としていることから、どの候補地であっても整備することが可能であるため金額差が生じない。	
合計			3,910,808,000	3,538,780,000	4,376,143,000	3,994,058,000	2,395,132,000	収益見込額を差し引いた概算事業費が最も安価な候補地を「30点」とし、他の候補地は点数を比例配分した。 30点×最も安価な概算事業費/(当該地における概算事業費－収益見込額)	
括弧内の金額は現在地を売却した場合で、合計－現在地の査定額（1,783,000,000円）＋現在地のAs舗装処分費（8,188,000円）を示す。			(2,135,996,000)	(1,763,968,000)	(2,601,331,000)	(2,219,246,000)	－		
評価点			18.37 (24.77)	20.30 (30.00)	16.42 (20.34)	17.99 (23.85)	30.00 (22.09)		
括弧内の評価点は、現在地を売却した場合			18 (25)	20 (30)	16 (20)	18 (24)	30 (22)		

※1 軟弱地盤に対する費用は平場面積を全面地盤改良した場合を想定し算出しています。なお、現段階では計画施設の基礎杭の太さや本数を設定することが困難であるため概算工事費には含まれていません。

※2 防災調整池から放流河川までの水路整備については、放流河川や地点及び放流ルートを現段階では設定することが困難であるため概算工事費には含まれていません。

※3 受電については、東京電力と協議した結果、現段階では費用負担がないことを確認しています。

※4 諸経費とは、工事に係る共通仮設費、現場管理費、一般管理費及び消費税を示します。

※審議中のため確定数値ではありません。

## No. 15 経済性

### ■基盤整備費用の補足資料

概略造成図を作成するにあたり配慮した事項

- ①候補地の地形図（縮尺：1/1500：標高線2mピッチ）
- ②現在地の建物（計画施設、管理プラザ、煙突、建替施設）の形状と大きさを活用し、候補地ごとに配置プランを作成しつつ計画高さが必要な平場造成計画を立案しました。
- ③防災調整池は、「千葉県における宅地開発等に伴う雨水排水・貯留浸透計画策定の手引」に基づき概算容量を算出しました。なお、調整池の洪水調節容量は、放流河川の流下能力により変化します。

#### <条件>

洪水調節容量は流域面積1haあたり1,052m<sup>3</sup>/ha

流域面積を開発面積と等しいと仮定すると、調整池の容量は下記のとおりとなります。

計算例) 岩戸 23,782m<sup>2</sup>÷1,000×1,052 m<sup>3</sup>/ha=2,502m<sup>3</sup>

#### ■防災調整池一覧表

区分	単位	岩戸地区	滝地区	武西地区	吉田地区	現在地
候補地面積	m <sup>2</sup>	23,782	24,451	25,406	26,125	24,968
調整池容量	m <sup>3</sup>	2,502	2,572	2,673	2,748	2,627
		約2,600	約2,600	約2,700	約2,800	—

#### ■切土、盛土及びブロック積擁壁について

切土法面は1:1.5、盛土法面は1:2.0で設定し、法面が雨や風などで侵食しないように法面緑化を計上しました。

なお、平場面積を確保するため、上記の勾配で対応できない場合は、ブロック積擁壁（1:0.5）を採用しました。

法面勾配は、道路土工指針（社）日本道路協会に基づく標準勾配を採用しています。

切土高5～10m 1:1.2～1:1.5 ⇒ 1:1.5採用

盛土高5～10m 1:1.8～1:2.0 ⇒ 1:2.0採用

切土法面の場合 ⇒ 種子吹付を採用

盛土法面の場合 ⇒ 緑化マットを採用

区分	切土造成	盛土造成	ブロック積擁壁
法面勾配	1:1.5	1:2.0	1:0.5
高1m			
	1.5m	2.0m	0.5m

#### ■伐採・除根等について

伐採面積は、造成計画で必要な範囲をCADで算出しました。

伐採は国土交通省土木工事積算基準に基づき、粗（概ね50本/m<sup>2</sup>未満）と密（概ね50本/100m<sup>2</sup>以上）の区分から、密を選定し積算しました。木の本数は10m<sup>2</sup>に2本と設定し、処分費を計上しました。

#### ■残土処分費と購入土について

切土した土砂は、候補地内の盛土材に転用することを基本としますが、盛土量より切土量が多い場合は、残土処分費を計上しました。一方、切土量が少なく盛土量が多い場合は、購入土の費用を計上しました。

#### ■地盤改良工について

候補地周辺の地質調査（千葉県地質環境インフォメーションバンクを参考）より、地盤改良を計上しました。

N値が20以下の地層はセメント改良による費用を計上しました。

また、N値が20以下の土砂を切土から盛土へ転用する場合にもセメント改良を計上しました。

（N値とは、地層の硬軟を示す値。ボーリングする際に重さ63.5kgのハンマーを75cm落下させて試験用サンプラーを、30cm土中に打ち込むのに要する打撃回数をN値といいます。この値が大きくなるほど地層は硬くなります。）

#### ■地盤改良深さ及び改良数量

区分	単位	岩戸地区	滝地区	武西地区	吉田地区	現在地
地盤改良深さ	m	13	7	13	9	13
平場面積	m <sup>2</sup>	14,000	21,000	18,000	19,000	9,000
地盤改良	m <sup>3</sup>	182,000	147,000	234,000	171,000	117,000

#### ■アクセス道路

道路幅は7m（道路幅5m＋歩道1m＋雨水排水0.5m×2箇所）で設定し概算工事費を算出しました。

また、アクセス道路の基礎は深さ1mの地盤改良工を計上しました。なお、道路の用地取得費は、候補地における不動産の意見価格から算出しました。

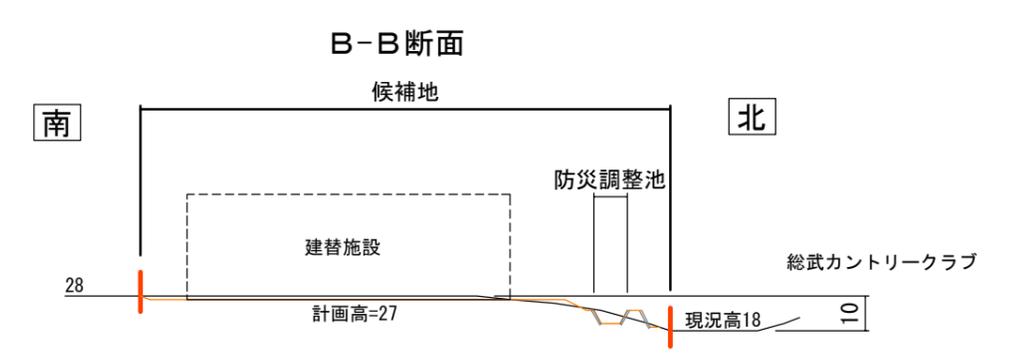
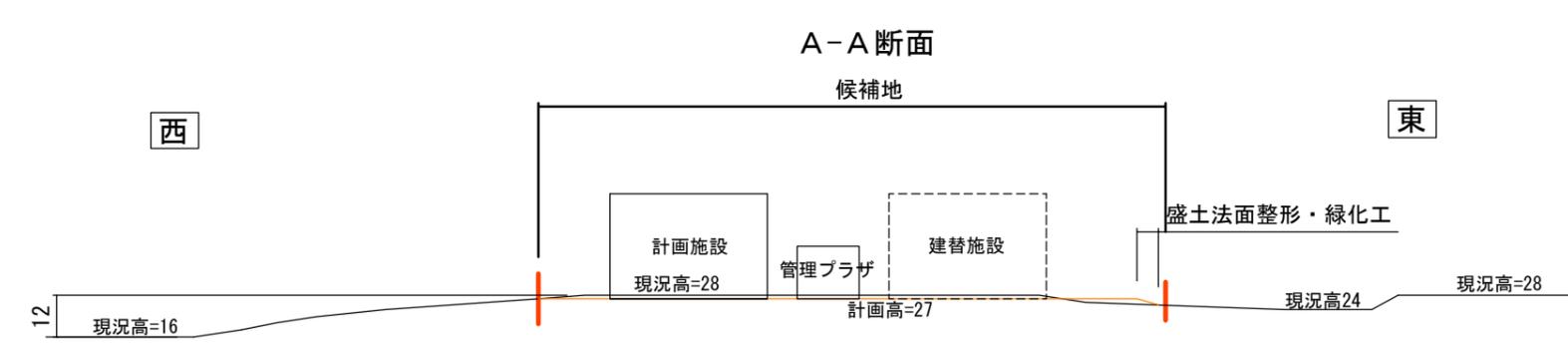
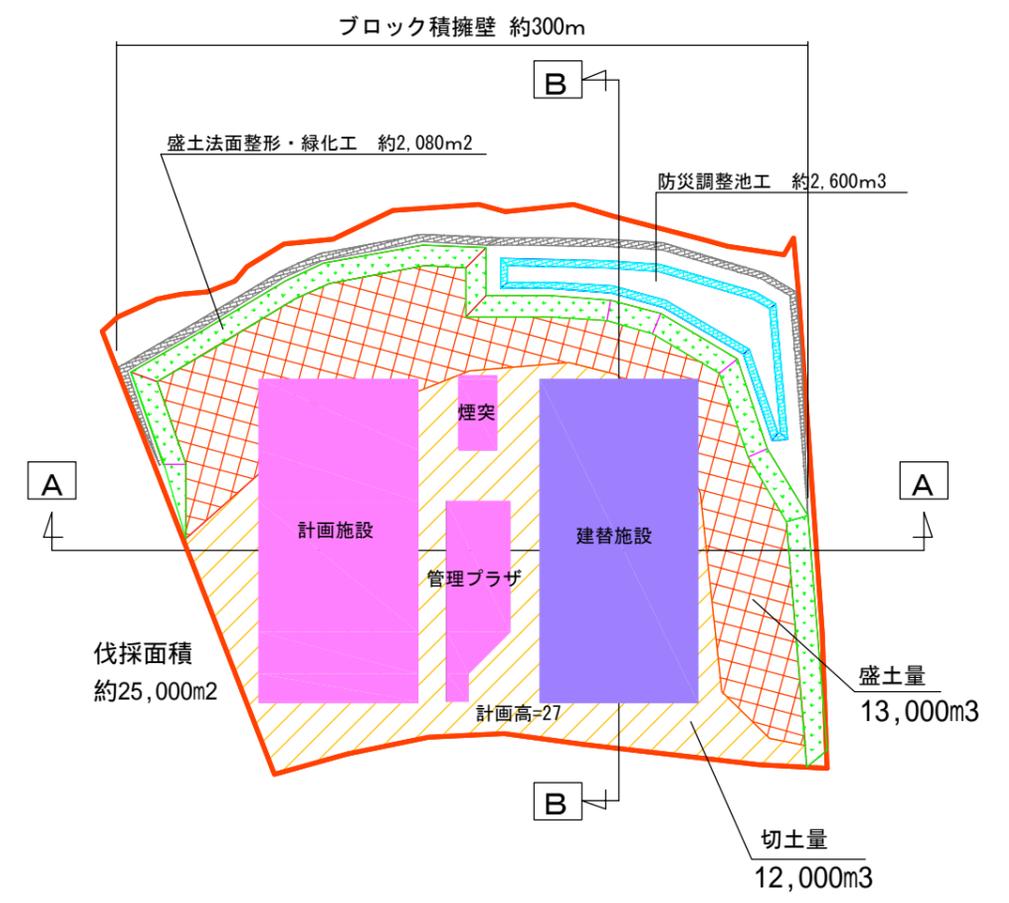
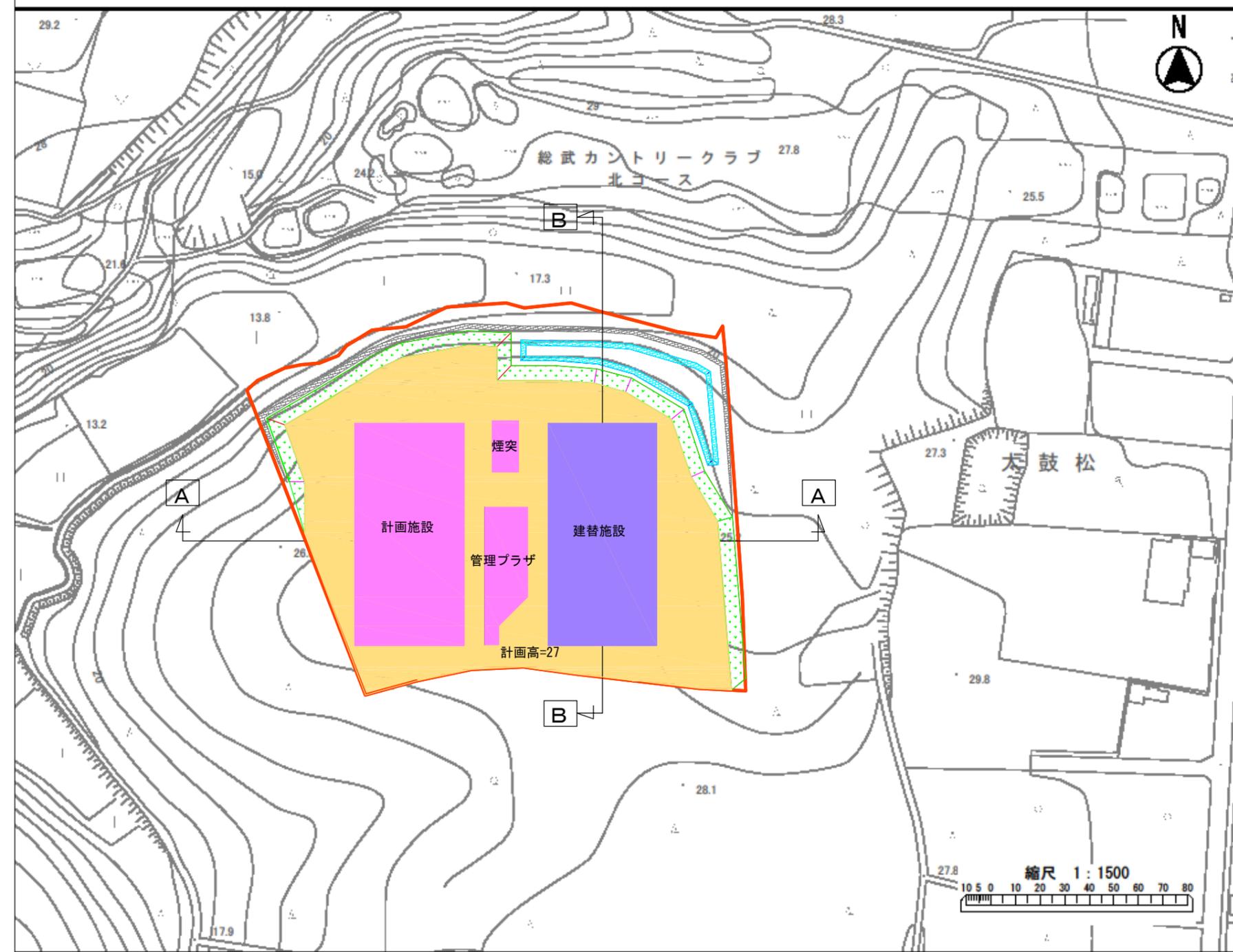
#### ■ユーティリティー

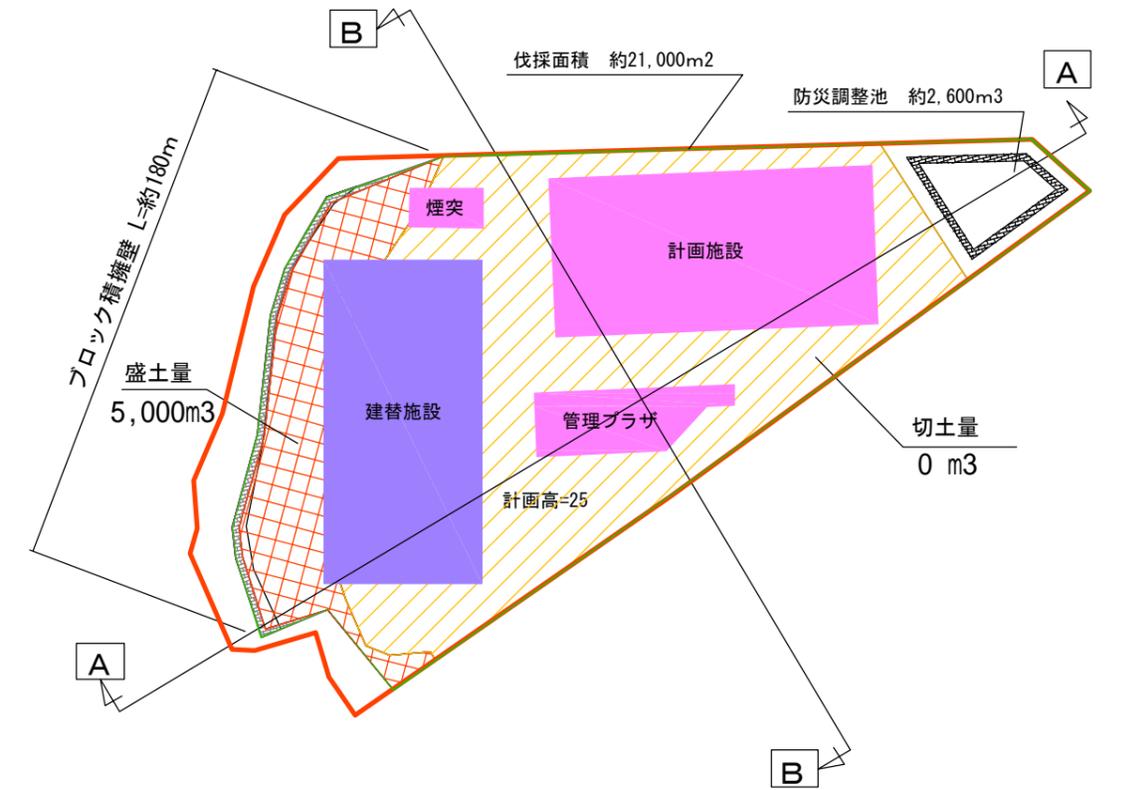
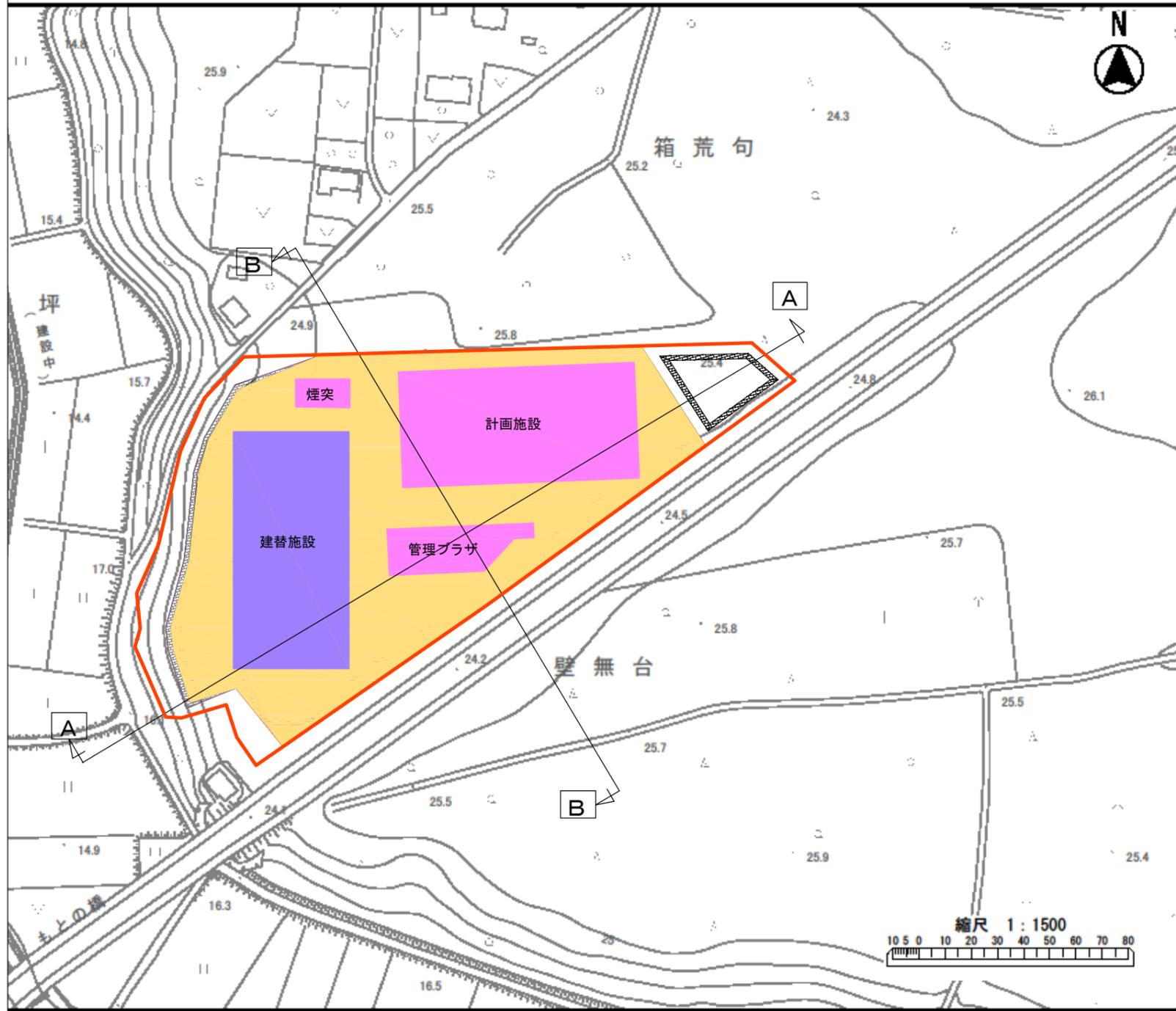
上下水道の引き込み施工費を計上

上水道：道路を掘削して水道管を布設し、道路を現況復旧する費用を計上しました。

下水道：道路を掘削して下水道管を布設し、道路を現況復旧する費用を計上しました。

別紙：上下水道等インフラ整備状況図参照





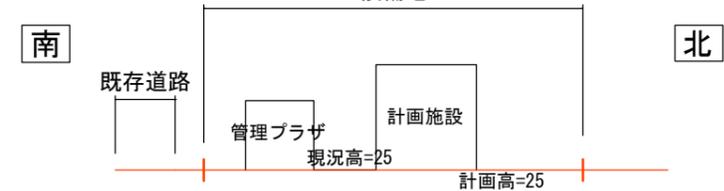
A-A断面

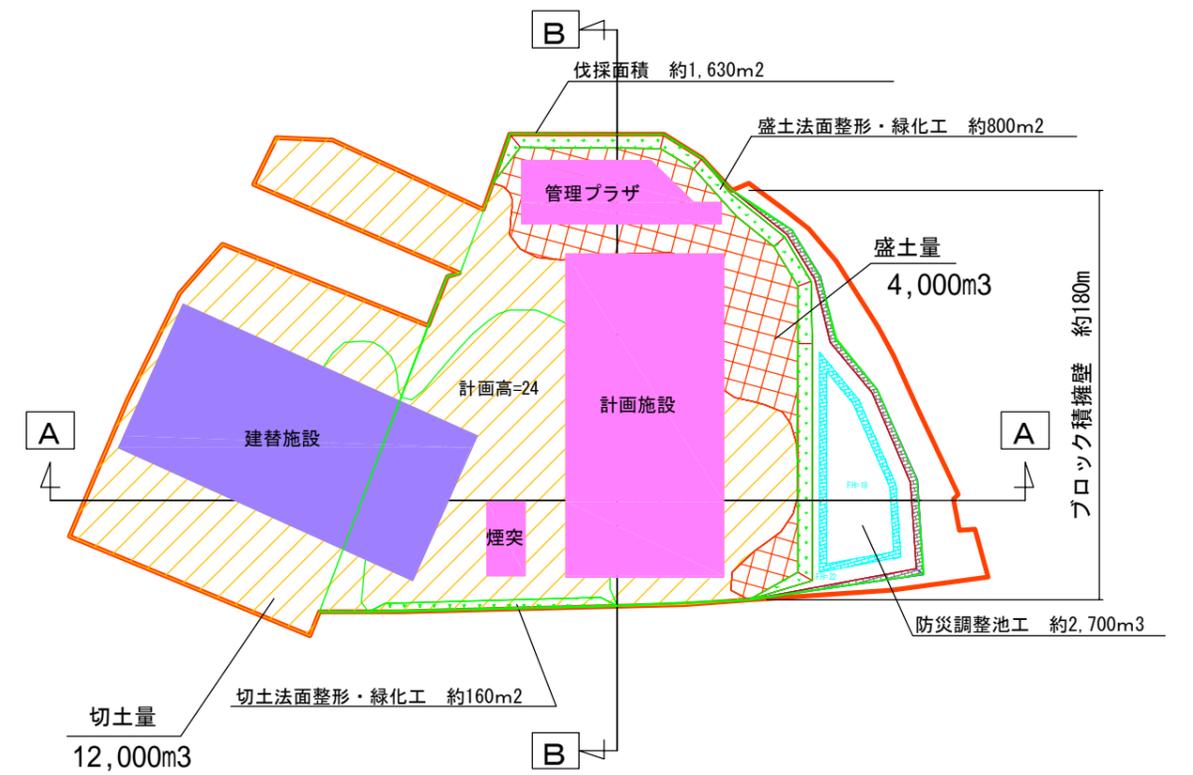
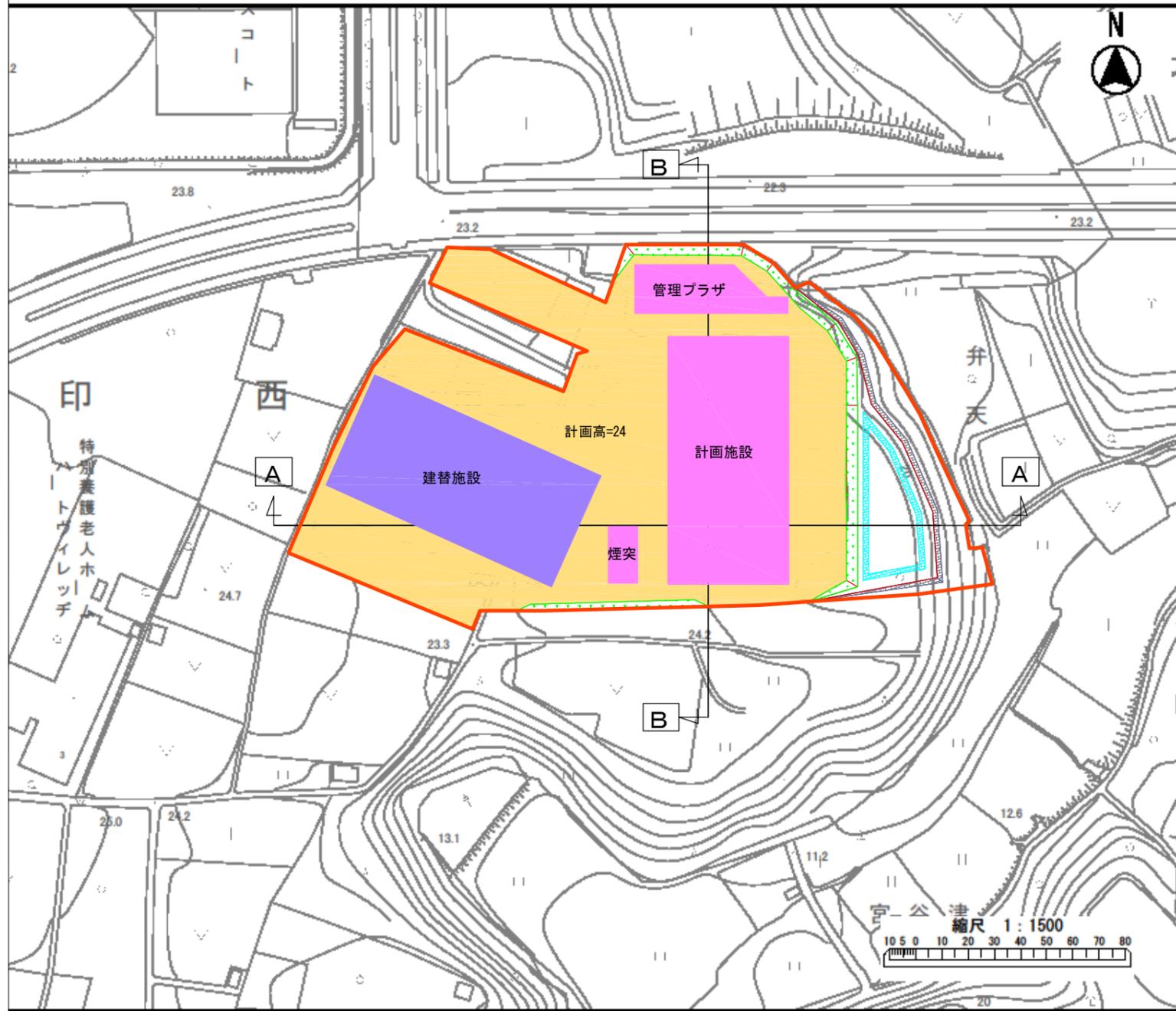
候補地



B-B断面

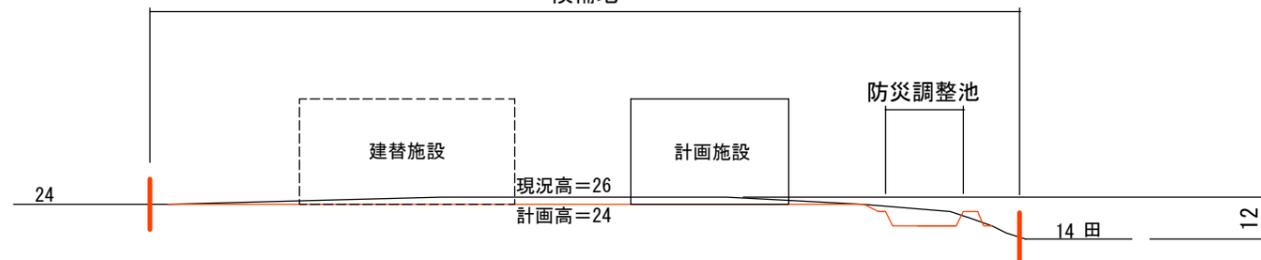
候補地





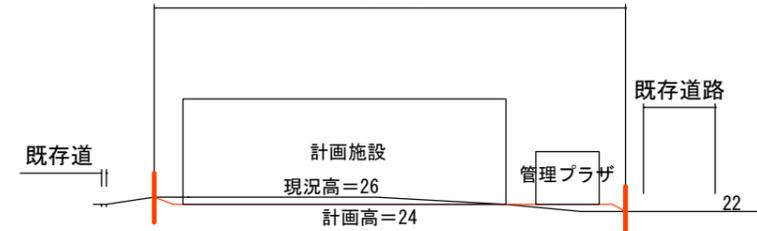
A-A断面

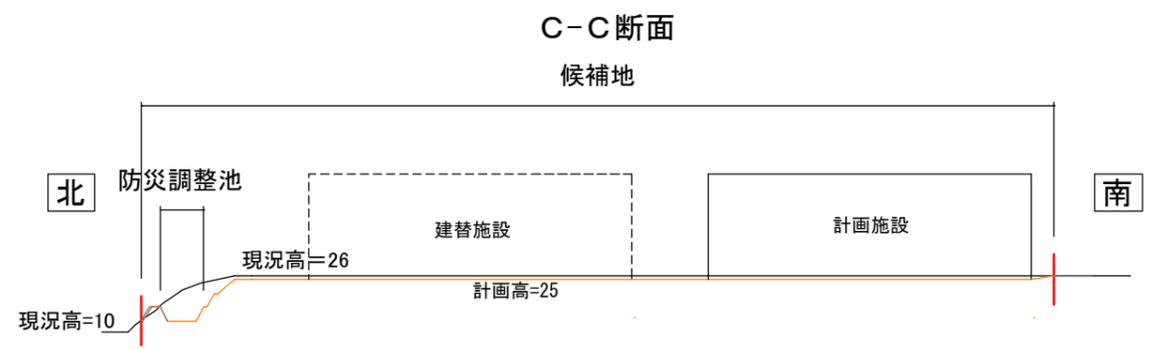
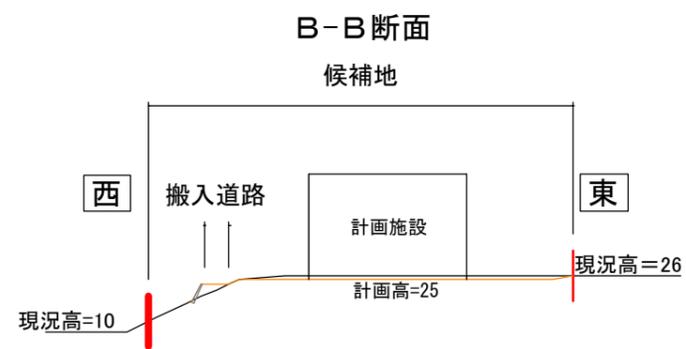
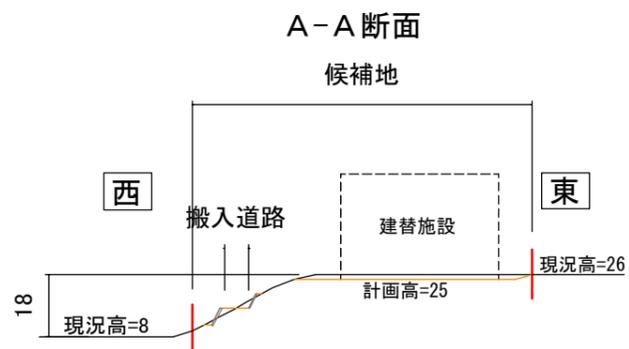
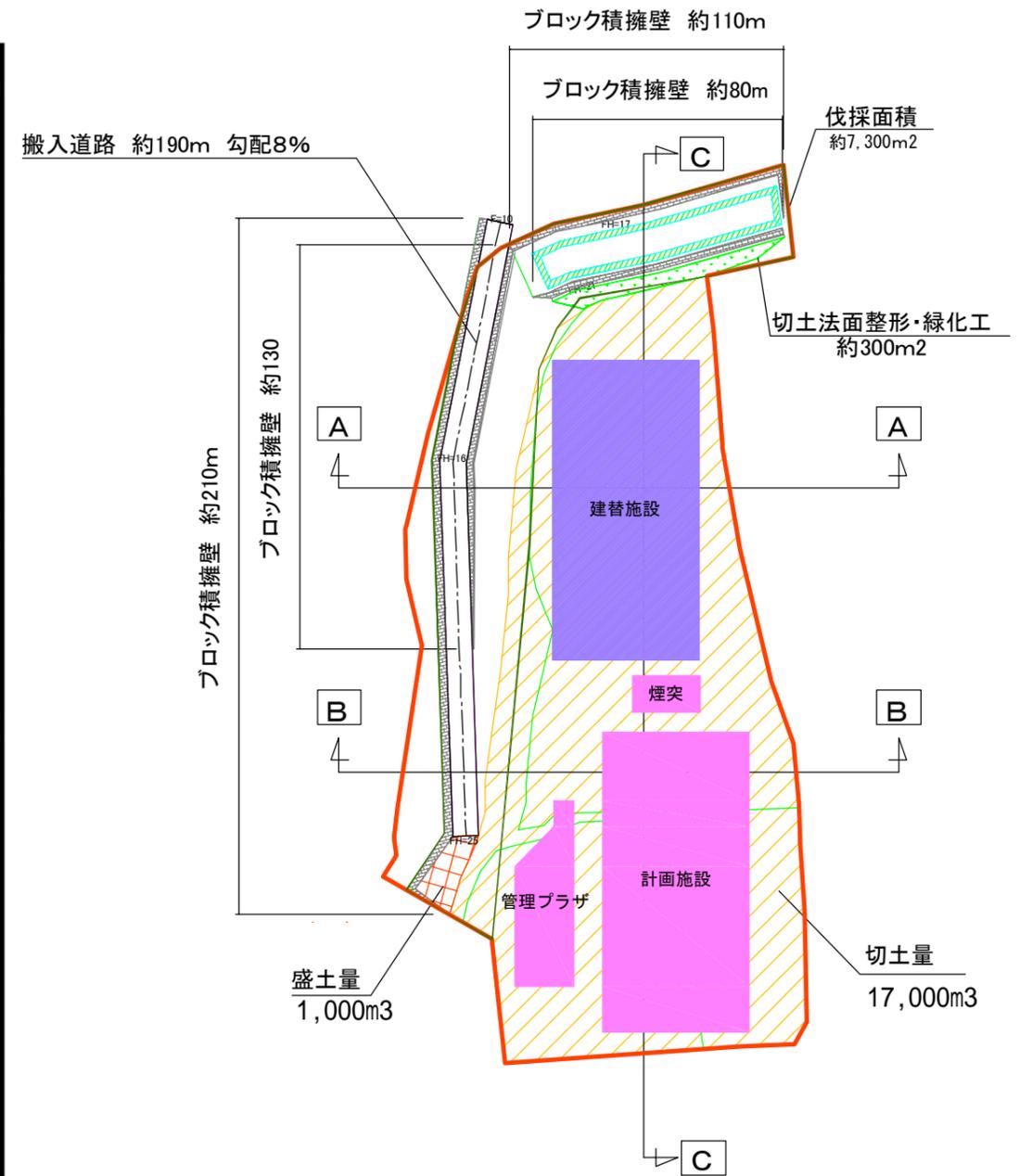
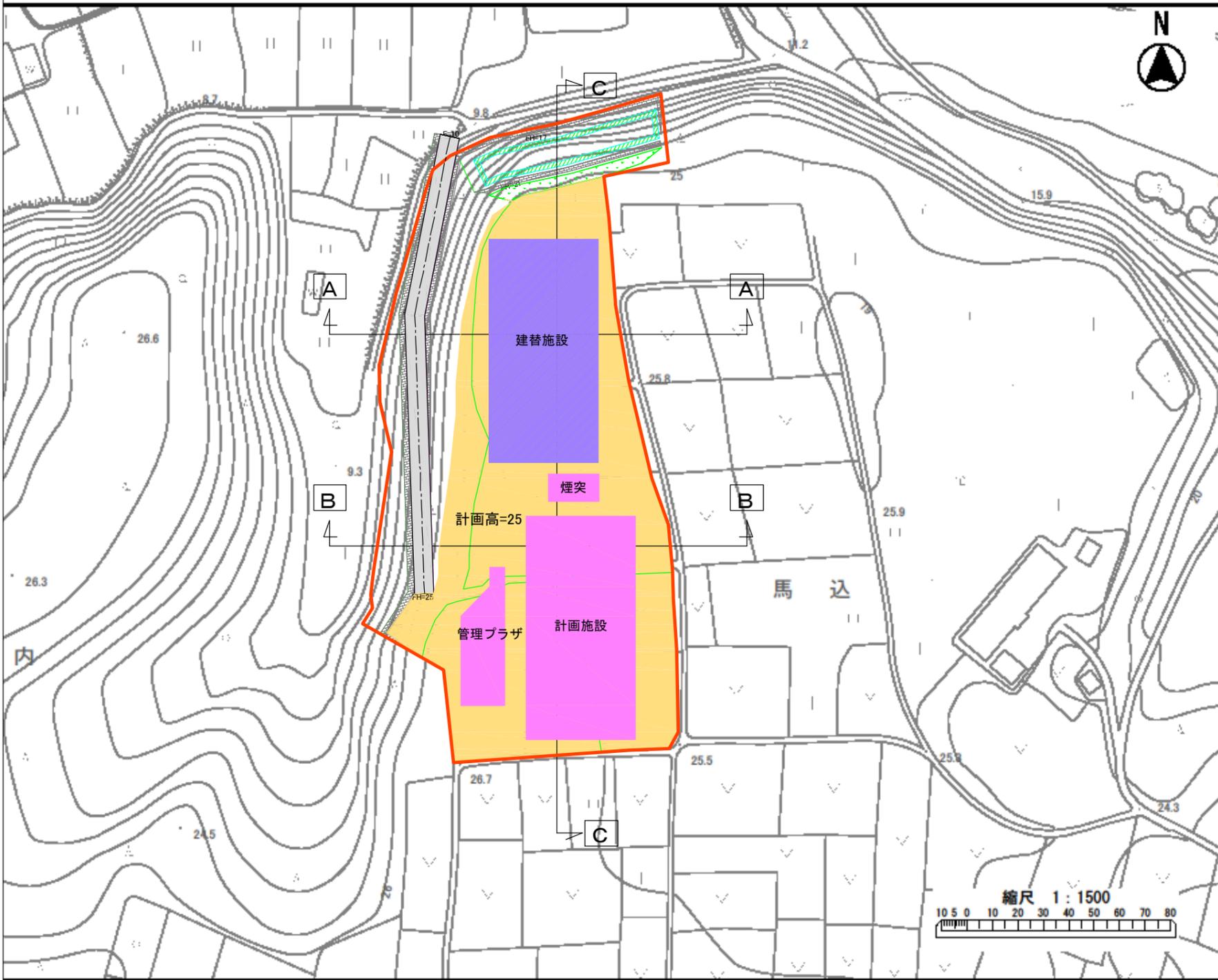
候補地

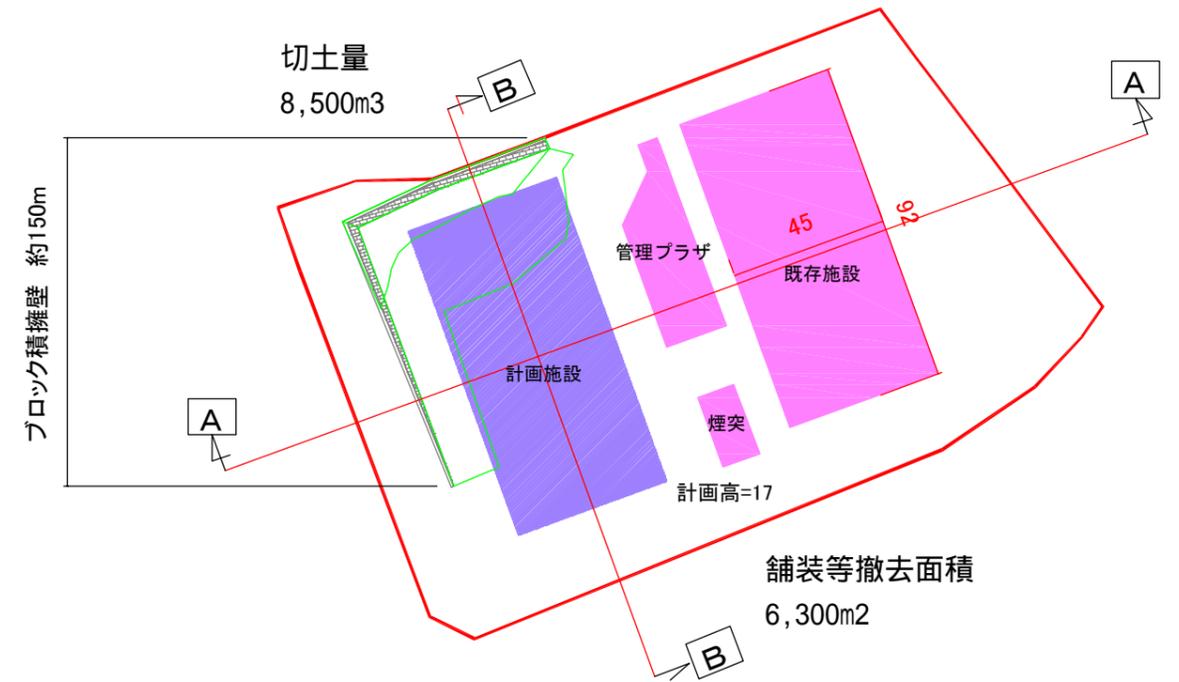
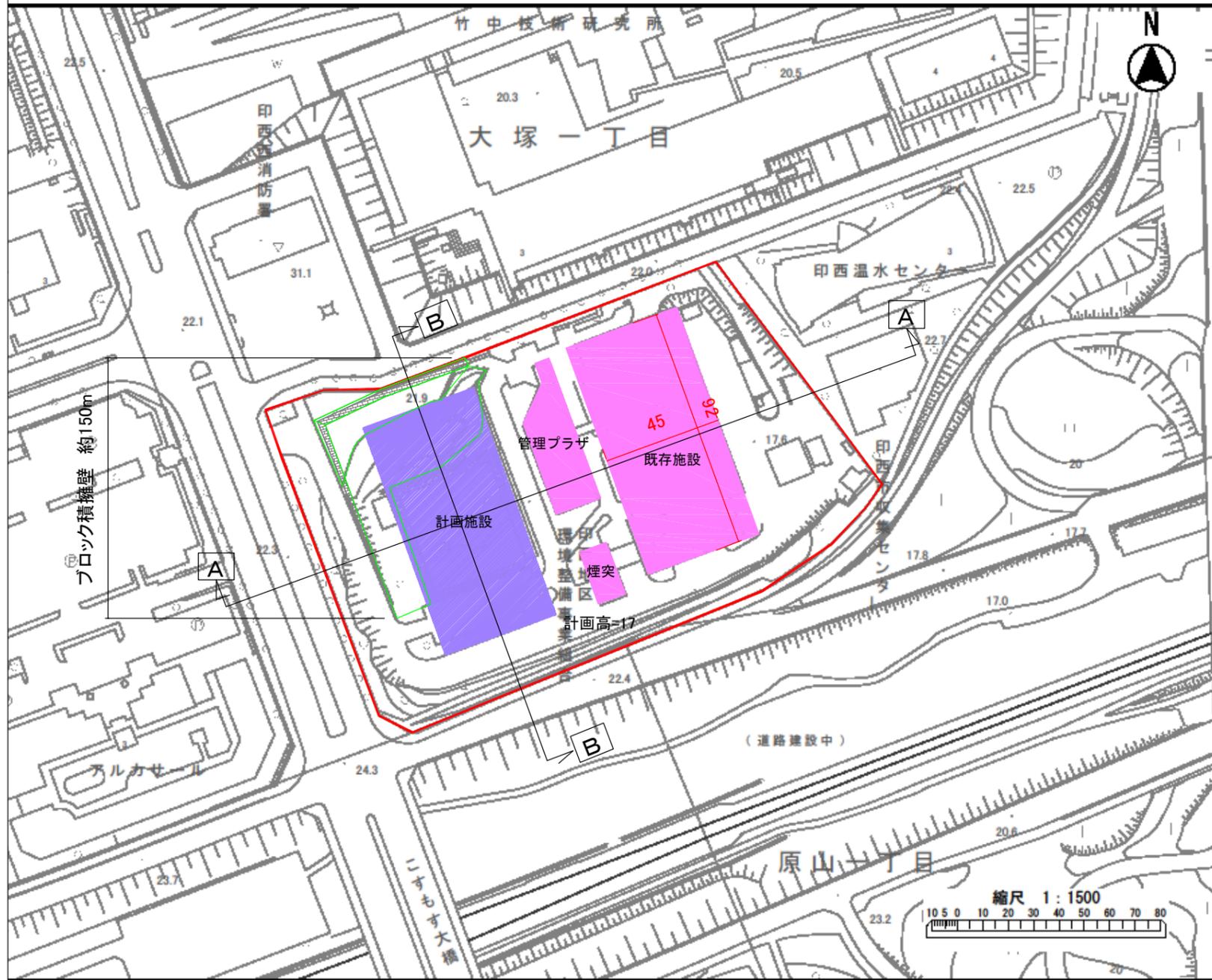


B-B断面

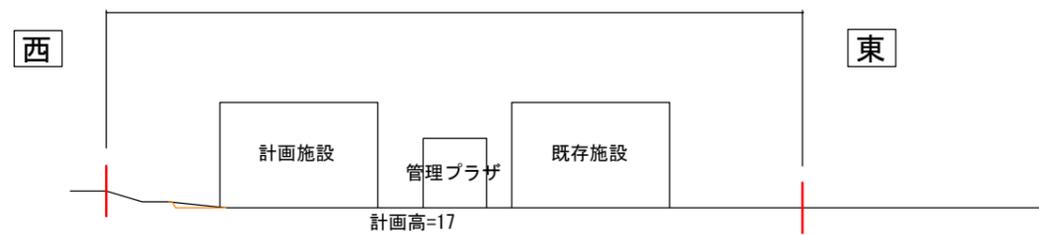
候補地



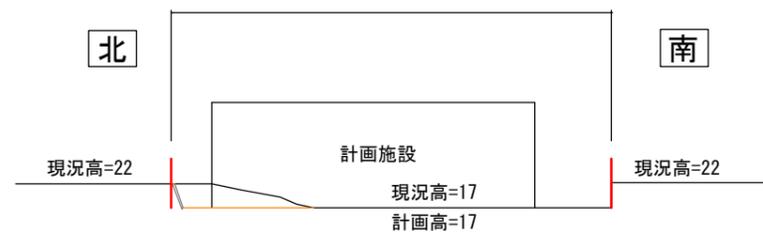




A-A断面  
候補地

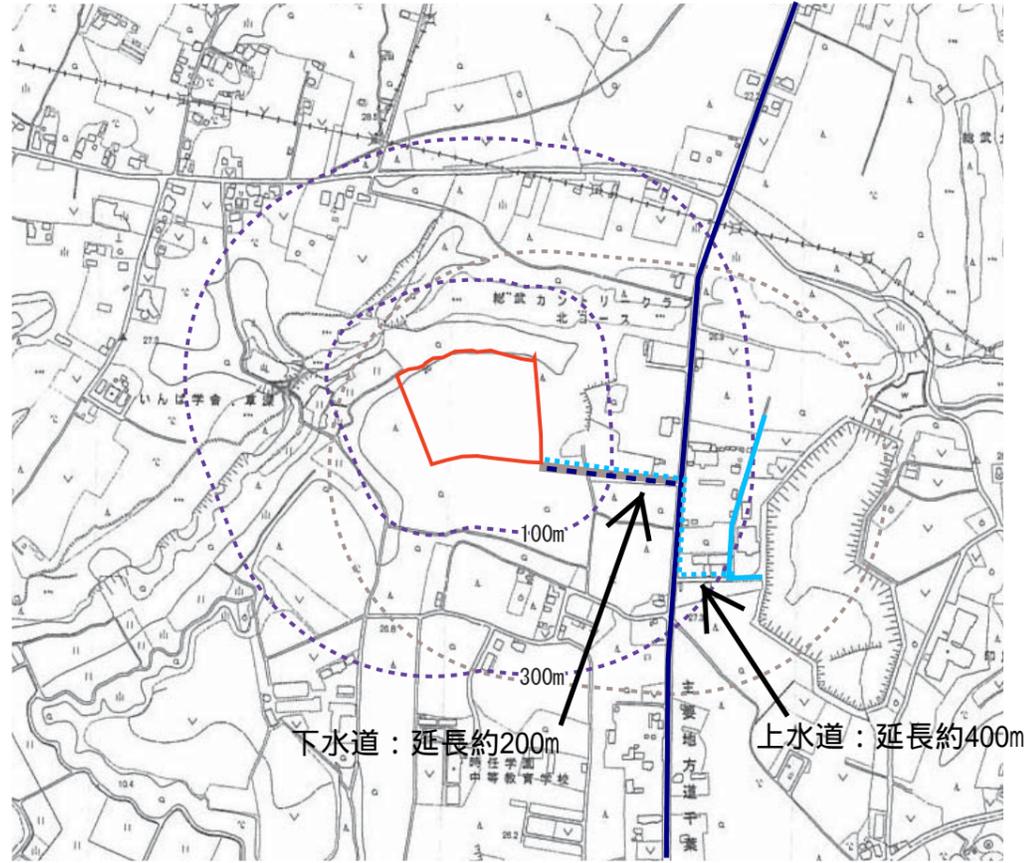


B-B断面  
候補地



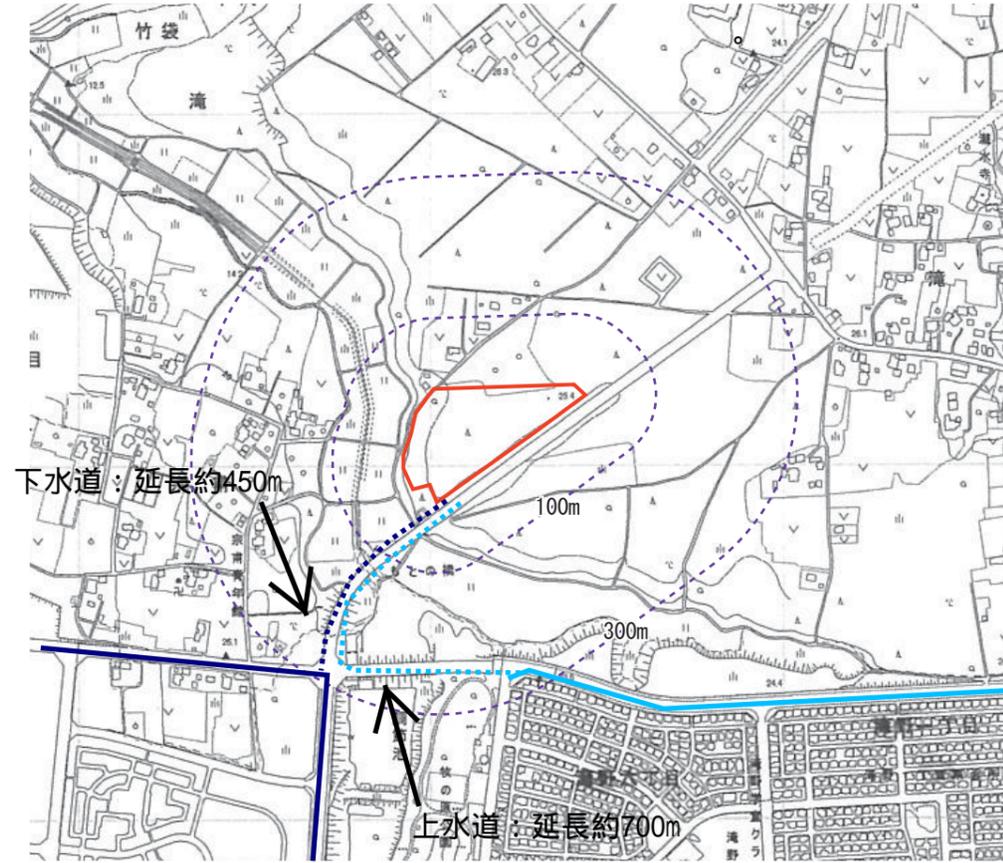
### 岩戸地区

上水道：延長約400m  
下水道：延長約200m



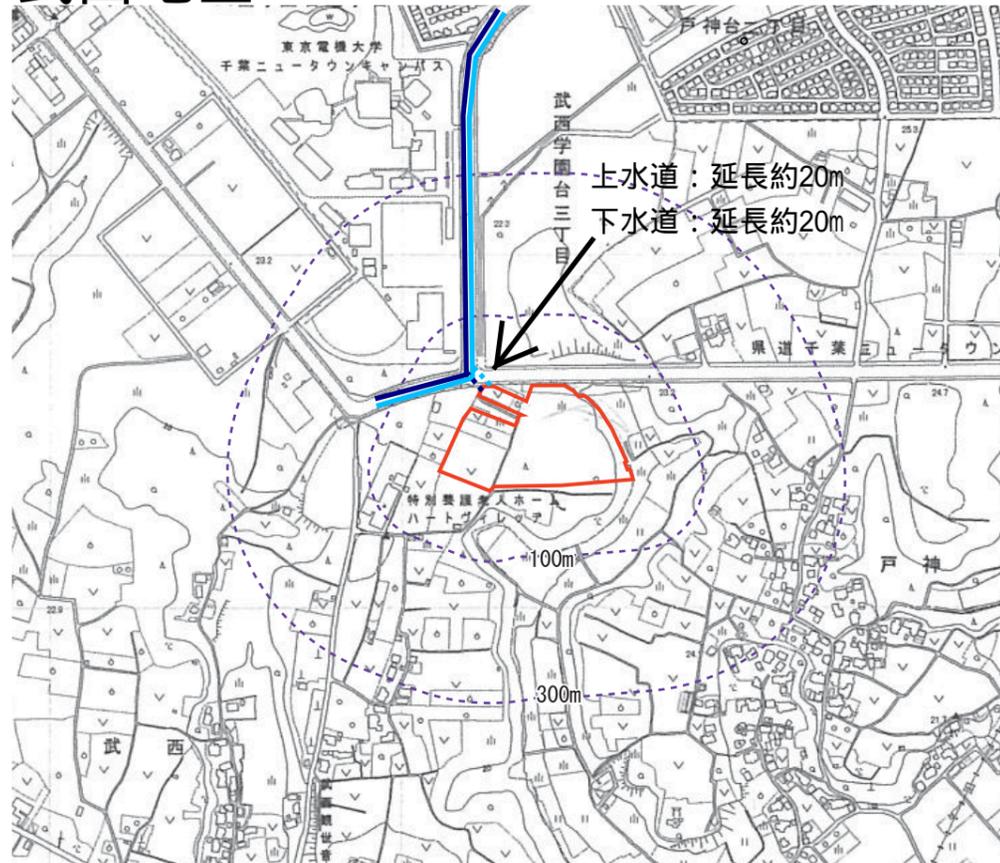
### 滝地区

上水道：延長約700m  
下水道：延長約450m



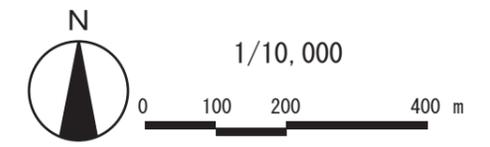
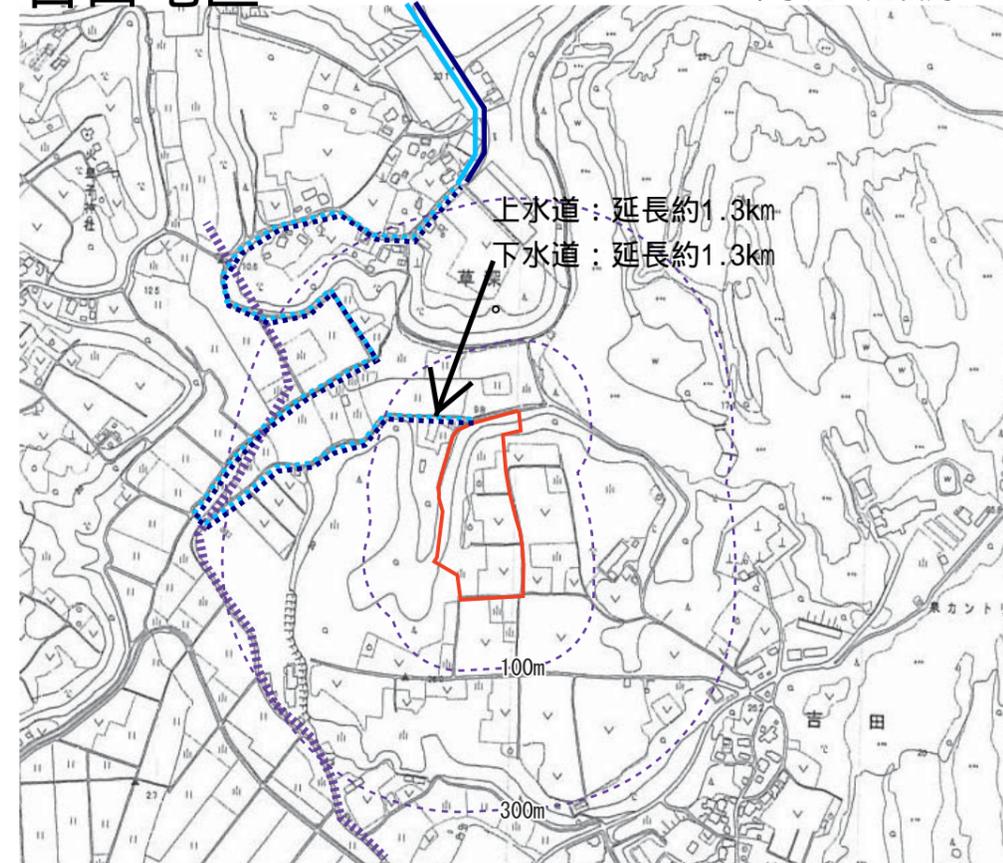
### 武西地区

上水道：延長約20m  
下水道：延長約20m



### 吉田地区

上水道：延長約1.3km  
下水道：延長約1.3km



3次審査 No.16 地域社会貢献 (案)

評価者 \_\_\_\_\_

岩戸地区

候補地の特性		備考	印西クリーンセンターの現状(平成25年度)
周辺の町内会・自治会等(世帯数)	482 : 岩戸(357) 造谷(55) 柏木台(35) 大廻(35) (2014年7月現在)	候補地の敷地境界から300m内にかかる町内会・自治会等	・印西地区: 人口177,477人(25年度末) ・排熱利用: 発生蒸気量130,007 t ・熱利用先: 発電(場内) 55,381 t (42.6%) 所内電力77.3% 温水センター 3,880 t ( 3%) 約15万人の利用者 地域冷暖房 20,391 t (15.7%) 地域冷暖房熱源 場内利用 35,832 t (27.6%) プラント、冷暖房 ・環境学習: 2市1町(印西市、白井市、栄町)全35校 小学4年生 約2,700人(25年度) 春・秋に分けて施設見学(授業の一環) ・3R: リユース(簡易補修及びクリーニング後使ってくれる人に安価で提供) 25年度実績 提供数 約500点 重さ 約5t 売上約20万円
人口重心からの距離	印西市(約2.9km) 白井市(約11.1km) 栄町(約9.4km) 印西地区(約〇km)	人口重心から各候補地の距離図 参照	
アクセス環境	最寄駅から距離	印西牧の原駅(約2.5km)	
	公共交通機関	印西牧の原駅の乗降者数(1日):12,053人(2013年度) 市営ふれあいバス 直近のバス停「柏木台」(約0.4km)	
主な道路状況	候補地東側の県道64号片側歩道(約2m)付 (一部未整備部あり)	幹線道路が近傍にあるとアクセスは良い	
地域周辺の状況	住宅・集会所等	300m内住宅数件あり 町内会ごとに集会所あり(候補地から約1~2km)	周辺住民が利用する施設の有無
	学校・病院等	いんば学舎(社会福祉法人 印旛福祉会 約0.3km) ・学校法人 時任学園(約0.3km)	各候補地の図面 参照
	防 災 (*参照)	指定避難所:宗像小学校(約2km)	候補地周辺の避難所図 参照 (印西市内の小中学校は全て避難所)
	そ の 他	既存の本管からの距離 上水道(約0.4km) 下水道(約0.2km)	各候補地の図面 参照

総合的な評価にあたって想定する着眼点			評価
地域社会貢献	評価するための参考事例	地域からの要望	
排熱利用	【場外設置】 ・温浴施設 ・温水プール 【熱供給】 ・地域冷暖房		1 2 3 4 5  (効果・優位性・将来性)
ごみ焼却施設の利用形態	・環境学習資料コーナー ・自然保護クラブ等のブース ・高齢者福祉クラブ等のブース ・2市1町(印西市、白井市、栄町)インフォメーションセンター ・リサイクル品修理ブース ・リハビリ設備・シャワー付きの健康増進ブース ・リサイクルの情報交換コーナー、展示ホール	要望はありません	1 2 3 4 5  (効果・優位性・将来性)
防災機能	・災害時の救出救援、治安機関(市、消防、警察、自衛隊等)の活動拠点 ・災害時の避難場所(周辺住民及び帰宅困難者) ・災害時のライフライン(道路、水道、電気、通信等)復旧事業者の集結活動の拠点 ・避難道路の整備		1 2 3 4 5  (効果・優位性・将来性)
産業振興(雇用創出を含む)	・地域事業(教育を含む)とのマッチング事業(例:もみ殻等の焼却処理) ・物産販売等場の提供 ・滞在型農業体験施設の整備 【熱供給】 ・温室(動植物用) ・施設園芸 ・野菜工場		1 2 3 4 5  (効果・優位性・将来性)

\* 広域避難場所:大規模災害が発生した場合、輻射熱や煙から身を守り生命の安全を確保するため、一時的に避難する場所。  
 \* 指定避難場所:住家の全半焼、焼失、浸水により住宅を失った方又は居住が困難な被災者のうち、避難を必要とする方を一時収容し、保護するための場所。  
 \* 特別避難所:福祉避難所として、災害時要援護者に特別な配慮をしたり、一時的な避難所として、床上(床下)浸水時や土砂災害警戒区域付近の市民が応急避難するため、市長が認めた場所に開設する。

3次審査 No.16 地域社会貢献 (案)

評価者 \_\_\_\_\_

滝地区

候補地の特性		備考	印西クリーンセンターの現状(平成25年度)
周辺の町内会・自治会等(世帯数)	423 : 滝(124) 宗甫(21) 滝野杜の会(278)	(2014年7月現在)	・印西地区: 人口177,477人(25年度末) ・排熱利用: 発生蒸気量130,007 t ・熱利用先: 発電(場内) 55,381 t (42.6%) 所内電力77.3% 温水センター 3,880 t ( 3%) 約15万人の利用者 地域冷暖房 20,391 t (15.7%) 地域冷暖房熱源 場内利用 35,832 t (27.6%) プラント、冷暖房 ・環境学習: 2市1町(印西市、白井市、栄町)全35校 小学4年生 約2,700人(25年度) 春・秋に分けて施設見学(授業の一環) ・3R: リユース(簡易補修及びクリーニング後使ってくれる人 に安価で提供) 25年度実績 提供数 約500点 重さ 約5t 売上約20万円
人口重心からの距離	印西市(約1.7km) 白井市(約11.4km) 栄町(約7.5km) 印西地区(約〇km)	候補地の敷地境界から300m内にかかる町内会・自治会等	
アクセス環境	最寄駅から距離	印西牧の原駅(約1.3km)	
	公共交通機関	印西牧の原駅の乗降者数(1日):12,053人(2013年度) 市営ふれあいバス 直近バス停「小林牧場」(約0.6km)	
主な道路状況	候補地南側2車線道路は両側歩道(約2m)付	ふれあいバス運行ルート図 参照 幹線道路が近傍にあるとアクセスは良い	
地域周辺の状況	住宅・集会所等	100m内に数件の集落 候補地南側に大規模住宅群あり(約0.3km) ・宗甫青年館(約200m)	周辺住民が利用する施設の有無
	学校・病院等	滝野小中学校(約05km) ・印西総合病院(約0.8km)	各候補地の図面 参照
	防 災 (*参照)	指定避難所:滝野中学校 滝野小学校(約0.5km)	候補地周辺の避難所図 参照 (印西市内の小中学校は全て避難所)
	そ の 他	既存の本管からの距離 上水道(約0.7km) 下水道(約0.45km)	各候補地の図面 参照

総合的な評価にあたって想定する着眼点			評価
地域社会貢献	評価するための参考事例	地域からの要望	
排熱利用	【場外設置】 ・温浴施設 ・温水プール 【熱供給】 ・地域冷暖房		1 2 3 4 5  ( 効果・優位性・将来性 )
ごみ焼却施設の利用形態 環境学習 福祉関連 情報発信	・環境学習資料コーナー ・自然保護クラブ等のブース ・リサイクル品修理ブース ・高齢者福祉クラブ等のブース ・リハビリ設備・シャワー付きの健康増進ブース ・2市1町(印西市、白井市、栄町)インフォメーションセンター ・リサイクルの情報交換コーナー、展示ホール	要望はありません	1 2 3 4 5  ( 効果・優位性・将来性 )
防災機能	・災害時の救出救援、治安機関(市、消防、警察、自衛隊等)の活動拠点 ・災害時の避難場所(周辺住民及び帰宅困難者) ・災害時のライフライン(道路、水道、電気、通信等)復旧事業者の集結活動の拠点 ・避難道路の整備		1 2 3 4 5  ( 効果・優位性・将来性 )
産業振興(雇用創出を含む)	・地域事業(教育を含む)とのマッチング事業(例:もみ殻等の焼却処理) ・物産販売等場の提供 ・滞在型農業体験施設の整備 【熱供給】 ・温室(動植物用) ・施設園芸 ・野菜工場		1 2 3 4 5  ( 効果・優位性・将来性 )

\* 広域避難場所:大規模災害が発生した場合、輻射熱や煙から身を守り生命の安全を確保するため、一時的に避難する場所。  
 \* 指定避難場所:住家の全半焼、焼失、浸水により住宅を失った方又は居住が困難な被災者のうち、避難を必要とする方を一時収容し、保護するための場所。  
 \* 特別避難所:福祉避難所として、災害時要援護者に特別な配慮をしたり、一時的な避難所として、床上(床下)浸水時や土砂災害警戒区域付近の市民が応急避難するため、市長が認めた場所に開設する。

3次審査 No.16 地域社会貢献 (案)

評価者

武西地区

候補地の特性		備考	印西クリーンセンターの現状(平成25年度)
周辺の町内会・自治会等(世帯数)	177 : 武西(111) 戸神(66)	(2014年7月現在)	・印西地区: 人口177,477人(25年度末) ・排熱利用: 発生蒸気量130,007 t ・熱利用先: 発電(場内) 55,381 t (42.6%) 所内電力77.3% 温水センター 3,880 t ( 3%) 約15万人の利用者 地域冷暖房 20,391 t (15.7%) 地域冷暖房熱源 場内利用 35,832 t (27.6%) プラント、冷暖房 ・環境学習: 2市1町(印西市、白井市、栄町)全35校 小学4年生 約2,700人(25年度) 春・秋に分けて施設見学(授業の一環) ・3R: リユース(簡易補修及びクリーニング後使ってくれる人 に安価で提供) 25年度実績 提供数 約500点 重さ 約5t 売上約20万円
人口重心からの距離	印西市(約4.4km) 白井市(約5.7km) 栄町(約13.5km) 印西地区(約〇km)	候補地の敷地境界から300m内にかかる町内会・自治会等	
アクセス環境	最寄駅から距離	千葉ニュータウン中央駅(約1.2km)	
	公共交通機関	千葉ニュータウン中央駅の乗降者数(1日):30,792人(2013年度)	
		市営ふれあいバス 直近のバス停は「ハートヴィレッジ前」(約0.2km)	ふれあいバス運行ルート図 参照
主な道路状況	候補地北側の県道190号は両側歩道(約3m)付	幹線道路が近傍にあるとアクセスは良い	
地域周辺の状況	住宅・集会所等	100~300m内に住宅計画及び住宅がある。(戸神集会所:約0.5km 武西集会所:約1km)	周辺住民が利用する施設の有無
	学校・病院等	特別養護老人ホーム ハートヴィレッジ(約0.1km) ・東京電機大学(約0.1km)	各候補地の図面 参照
	防 災 (*参照)	広域避難所:東京電機大学(約0.1km) ・特別避難所:武西集会所(約1km)	候補地周辺の避難所図 参照 (印西市内の小中学校は全て避難所)
	そ の 他	既存の本管からの距離 上水道(約20m) 下水道(約20m)	各候補地の図面 参照

総合的な評価にあたって想定する着眼点			評価
地域社会貢献	評価するための参考事例	地域からの要望	
排熱利用	【場外設置】 ・温浴施設 ・温水プール 【熱供給】 ・地域冷暖房	要望はありません	1 2 3 4 5  (効果・優位性・将来性)
ごみ焼却施設の利用形態 環境学習 福祉関連 情報発信	・環境学習資料コーナー ・自然保護クラブ等のブース ・リサイクル品修理ブース ・高齢者福祉クラブ等のブース ・リハビリ設備・シャワー付きの健康増進ブース ・2市1町(印西市、白井市、栄町)インフォメーションセンター ・リサイクルの情報交換コーナー、展示ホール		1 2 3 4 5  (効果・優位性・将来性)
防災機能	・災害時の救出救援、治安機関(市、消防、警察、自衛隊等)の活動拠点 ・災害時の避難場所(周辺住民及び帰宅困難者) ・災害時のライフライン(道路、水道、電気、通信等)復旧事業者の集結活動の拠点 ・避難道路の整備		1 2 3 4 5  (効果・優位性・将来性)
産業振興(雇用創出を含む)	・地域事業(教育を含む)とのマッチング事業(例:もみ殻等の焼却処理) ・物産販売等の提供 ・滞在型農業体験施設の整備 【熱供給】 ・温室(動植物用) ・施設園芸 ・野菜工場		1 2 3 4 5  (効果・優位性・将来性)

\* 広域避難場所:大規模災害が発生した場合、輻射熱や煙から身を守り生命の安全を確保するため、一時的に避難する場所。  
 \* 指定避難場所:住家の全半焼、焼失、浸水により住宅を失った方又は居住が困難な被災者のうち、避難を必要とする方を一時収容し、保護するための場所。  
 \* 特別避難所:福祉避難所として、災害時要援護者に特別な配慮をしたり、一時的な避難所として、床上(床下)浸水時や土砂災害警戒区域付近の市民が応急避難するため、市長が認めた場所に開設する。

3次審査 No.16 地域社会貢献 (案)

吉田地区

評価者 \_\_\_\_\_

候補地の特性		備考	印西クリーンセンターの現状(平成25年度)
周辺の町内会・自治会等(世帯数)	188 : 吉田(168) 松崎3(20)	(2014年7月現在)	候補地の敷地境界から300m内にかかる町内会・自治会等
人口重心からの距離	印西市(約3.6km) 白井市(約9.2km) 栄町(約11.6km) 印西地区(約〇km)		候補地の敷地境界から300m内にかかる町内会・自治会等
アクセス環境	最寄駅から距離	印西牧の原駅(約3.8km)	—
	公共交通機関	印西牧の原駅の乗降者数(1日):12,053人(2013年度)	—
		市営ふれあいバス 直近バス停「松崎工業団地」(約0.8km)	ふれあいバス運行ルート図 参照
主な道路状況	候補地周辺の道路は歩道はない ・候補地北側の松崎工業団地内道路は歩道(約2m)	幹線道路が近傍にあるとアクセスは良い	
地域周辺の状況	住宅・集会所等	吉田地区集落(約0.5km) ・松崎3地区集落(約0.8km)	周辺住民が利用する施設の有無
	学校・病院等	宗像小学校(約2km)	各候補地の図面 参照
	防 災 (*参照)	特別避難所:松崎むらぐるみ農業集会所(約0.8km)	候補地周辺の避難所図 参照 (印西市内の小中学校は全て避難所)
	そ の 他	既存の本管からの距離 上水道(約1.3km) 下水道(約1.3km) ・吉田球場(約0.3km)	各候補地の図面 参照

・印西地区: 人口177,477人(25年度末)  
 ・排熱利用: 発生蒸気量130,007 t  
 ・熱利用先:  
 発電(場内) 55,381 t (42.6%) 所内電力77.3%  
 温水センター 3,880 t ( 3%) 約15万人の利用者  
 地域冷暖房 20,391 t (15.7%) 地域冷暖房熱源  
 場内利用 35,832 t (27.6%) プラント、冷暖房  
 ・環境学習:  
 2市1町(印西市、白井市、栄町)全35校 小学4年生  
 約2,700人(25年度)  
 春・秋に分けて施設見学(授業の一環)  
 ・3R:  
 リユース(簡易補修及びクリーニング後使ってくれる人に安価で提供)  
 25年度実績 提供数 約500点 重さ 約5t  
 売上約20万円

総合的な評価にあたって想定する着眼点			評価
地域社会貢献	評価するための参考事例	地域からの要望	
排熱利用	【場外設置】 ・温浴施設 ・温水プール 【熱供給】 ・地域冷暖房	・植物園 ・バナナ園 ・足湯、温水プール、スポーツジム ・サンセットスパ ・露店風呂、岩盤浴	1 2 3 4 5 ( 効果 ・ 優位性 ・ 将来性 )
ごみ焼却施設の利用形態	・環境学習資料コーナー ・自然保護クラブ等のブース ・高齢者福祉クラブ等のブース ・2市1町(印西市、白井市、栄町)インフォメーションセンター	・リサイクル品修理ブース ・リハビリ設備・シャワー付きの健康増進ブース ・福祉センター ・印旛沼水族館(環境学習) ・コミュニティセンター	1 2 3 4 5 ( 効果 ・ 優位性 ・ 将来性 )
防災機能	・災害時の救出救援、治安機関(市、消防、警察、自衛隊等)の活動拠点 ・災害時の避難場所(周辺住民及び帰宅困難者)	・災害時のライフライン(道路、水道、電気、通信等)復旧事業者の集結活動の拠点 ・避難道路の整備 ・防災訓練所 ・多目的機能の広域避難所	1 2 3 4 5 ( 効果 ・ 優位性 ・ 将来性 )
産業振興(雇用創出を含む)	・地域事業(教育を含む)とのマッチング事業(例:もみ殻等の焼却処理) ・物産販売等場の提供	・滞在型農業体験施設の整備 【熱供給】 ・温室(動植物用) ・施設園芸 ・野菜工場 ・パラグライダー ・サイクル駐車場、ロードサービス(道の駅併設)	1 2 3 4 5 ( 効果 ・ 優位性 ・ 将来性 )

- \* 広域避難場所:大規模災害が発生した場合、輻射熱や煙から身を守り生命の安全を確保するため、一時的に避難する場所。
- \* 指定避難場所:住家の全半焼、焼失、浸水により住宅を失った方又は居住が困難な被災者のうち、避難を必要とする方を一時収容し、保護するための場所。
- \* 特別避難所:福祉避難所として、災害時要援護者に特別な配慮をしたり、一時的な避難所として、床上(床下)浸水時や土砂災害警戒区域付近の市民が応急避難するため、市長が認めた場所に開設する。

3次審査 No.16 地域社会貢献 (案)

評価者 \_\_\_\_\_

現在地

候補地の特性		備考	印西クリーンセンターの現状(平成25年度)
周辺の町内会・自治会等(世帯数)	1,075 : 小倉台アピック21(665) サンクス千葉ニュータウン中央(410) (2014年7月現在)	候補地の敷地境界から300m内にかかる町内会・自治会等	・印西地区: 人口177,477人(25年度末) ・排熱利用: 発生蒸気量130,007 t ・熱利用先: 発電(場内) 55,381 t (42.6%) 所内電力77.3% 温水センター 3,880 t ( 3%) 約15万人の利用者 地域冷暖房 20,391 t (15.7%) 地域冷暖房熱源 場内利用 35,832 t (27.6%) プラント、冷暖房 ・環境学習: 2市1町(印西市、白井市、栄町)全35校 小学4年生 約2,700人(25年度) 春・秋に分けて施設見学(授業の一環) ・3R: リユース(簡易補修及びクリーニング後使ってくれる人に安価で提供) 25年度実績 提供数 約500点 重さ 約5t 売上約20万円
人口重心からの距離	印西市(約3.4km) 白井市(約6.6km) 栄町(約12.4km) 印西地区(約〇km)	人口重心から各候補地の距離図 参照	
アクセス環境	最寄駅から距離	千葉ニュータウン中央駅(約0.2km)	
	公共交通機関	千葉ニュータウン中央駅の乗降者数(1日): 30,792人(2013年度) 駅北口、南口には民営バス及び市営ふれあいバスのバス停がある	
	主な道路状況	候補地周辺の道路は歩道(約3m)	幹線道路が近傍にあるとアクセスは良い
地域周辺の状況	住宅・集会所等	高層住宅・企業ビルの立地(約0.3~0.5km) ・中央駅前地域交流館(約0.2km)	周辺住民が利用する施設の有無
	学校・病院等	・テナント歯科(0.1km)、 ・原山中学校(約0.8km)	各候補地の図面 参照
	防 災 (*参照)	広域避難所: 北総花の丘公園(約0.2km) 指定避難所: 原山中学校(約0.8km) 特別避難所: 中央駅前地域交流館(約0.2km)	候補地周辺の避難所図 参照 (印西市内の小中学校は全て避難所)
	そ の 他	駅前商業施設(約0.1km)	各候補地の図面 参照

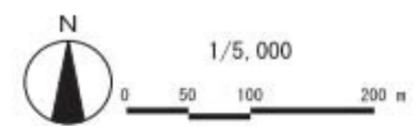
総合的な評価にあたって想定する着眼点			評価
地域社会貢献	評価するための参考事例	地域からの要望	
排熱利用	【場外設置】 ・温浴施設 ・温水プール 【熱供給】 ・地域冷暖房		1 2 3 4 5  (効果・優位性・将来性)
ごみ焼却施設の利用形態 環境学習 福祉関連 情報発信	・環境学習資料コーナー ・自然保護クラブ等のブース ・高齢者福祉クラブ等のブース ・2市1町(印西市、白井市、栄町)インフォメーションセンター ・リサイクル品修理ブース ・リハビリ設備・シャワー付きの健康増進ブース ・リサイクルの情報交換コーナー、展示ホール	要望はありません	1 2 3 4 5  (効果・優位性・将来性)
防災機能	・災害時の救出救援、治安機関(市、消防、警察、自衛隊等)の活動拠点 ・災害時の避難場所(周辺住民及び帰宅困難者) ・災害時のライフライン(道路、水道、電気、通信等)復旧事業者の集結活動の拠点 ・避難道路の整備		1 2 3 4 5  (効果・優位性・将来性)
産業振興(雇用創出を含む)	・地域事業(教育を含む)とのマッチング事業(例: もみ殻等の焼却処理) ・物産販売等場の提供 ・滞在型農業体験施設の整備 【熱供給】 ・温室(動植物用) ・施設園芸 ・野菜工場		1 2 3 4 5  (効果・優位性・将来性)

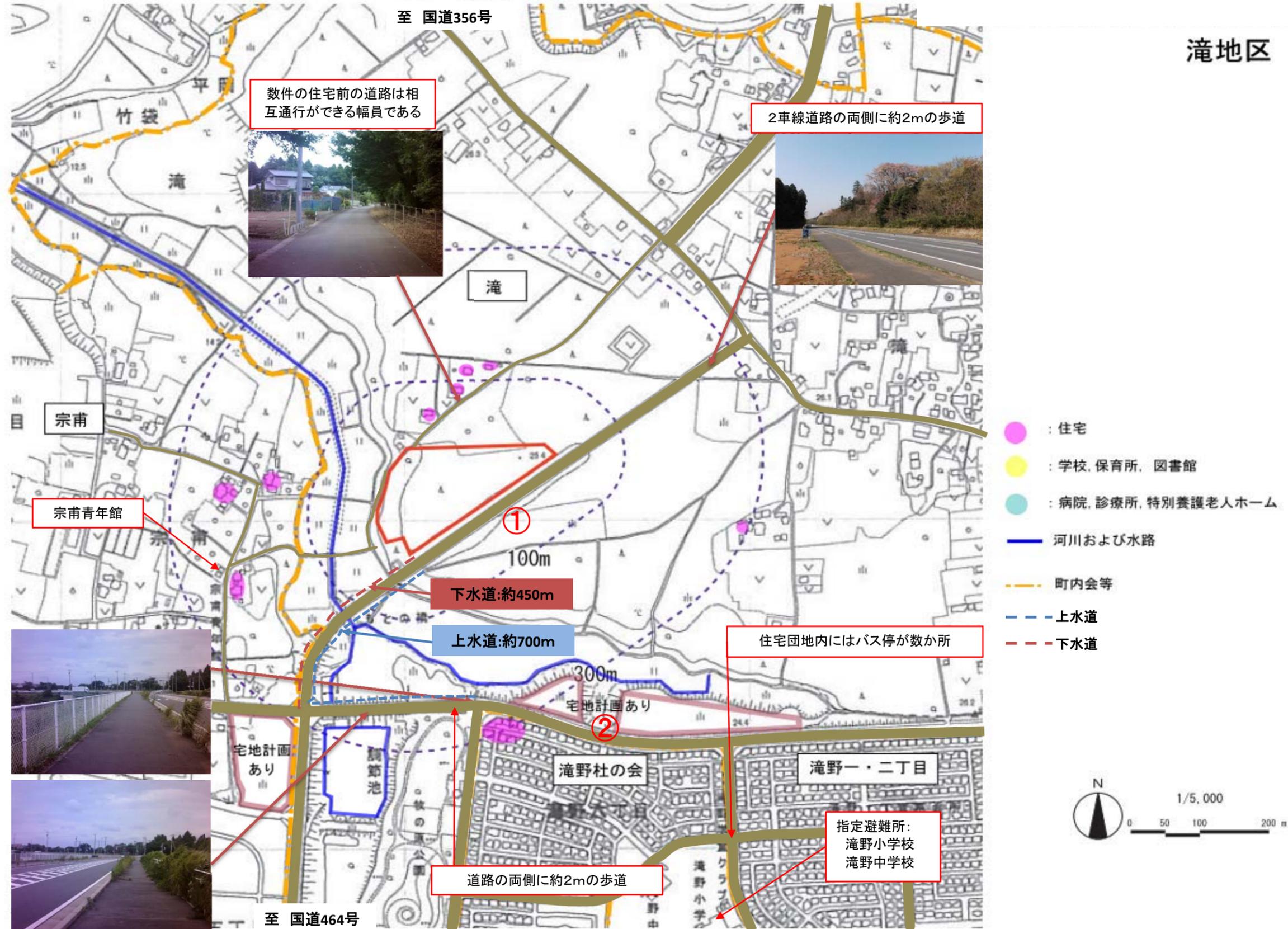
\* 広域避難場所: 大規模災害が発生した場合、輻射熱や煙から身を守り生命の安全を確保するため、一時的に避難する場所。  
 \* 指定避難場所: 住家の全半焼、焼失、浸水により住宅を失った方又は居住が困難な被災者のうち、避難を必要とする方を一時收容し、保護するための場所。  
 \* 特別避難所: 福祉避難所として、災害時要援護者に特別な配慮をしたり、一時的な避難所として、床上(床下)浸水時や土砂災害警戒区域付近の市民が応急避難するため、市長が認めた場所に開設する。

# 岩戸地区



- : 住宅
- : 学校, 保育所, 図書館
- : 病院, 診療所, 特別養護老人ホーム
- 河川および水路
- - - 町内会等
- アクセス道路  
※大廻はアクセス道路から300mの範囲に位置します。
- - - 上水道
- - - 下水道

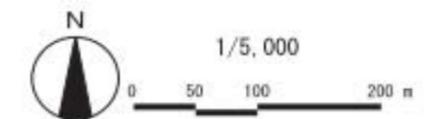


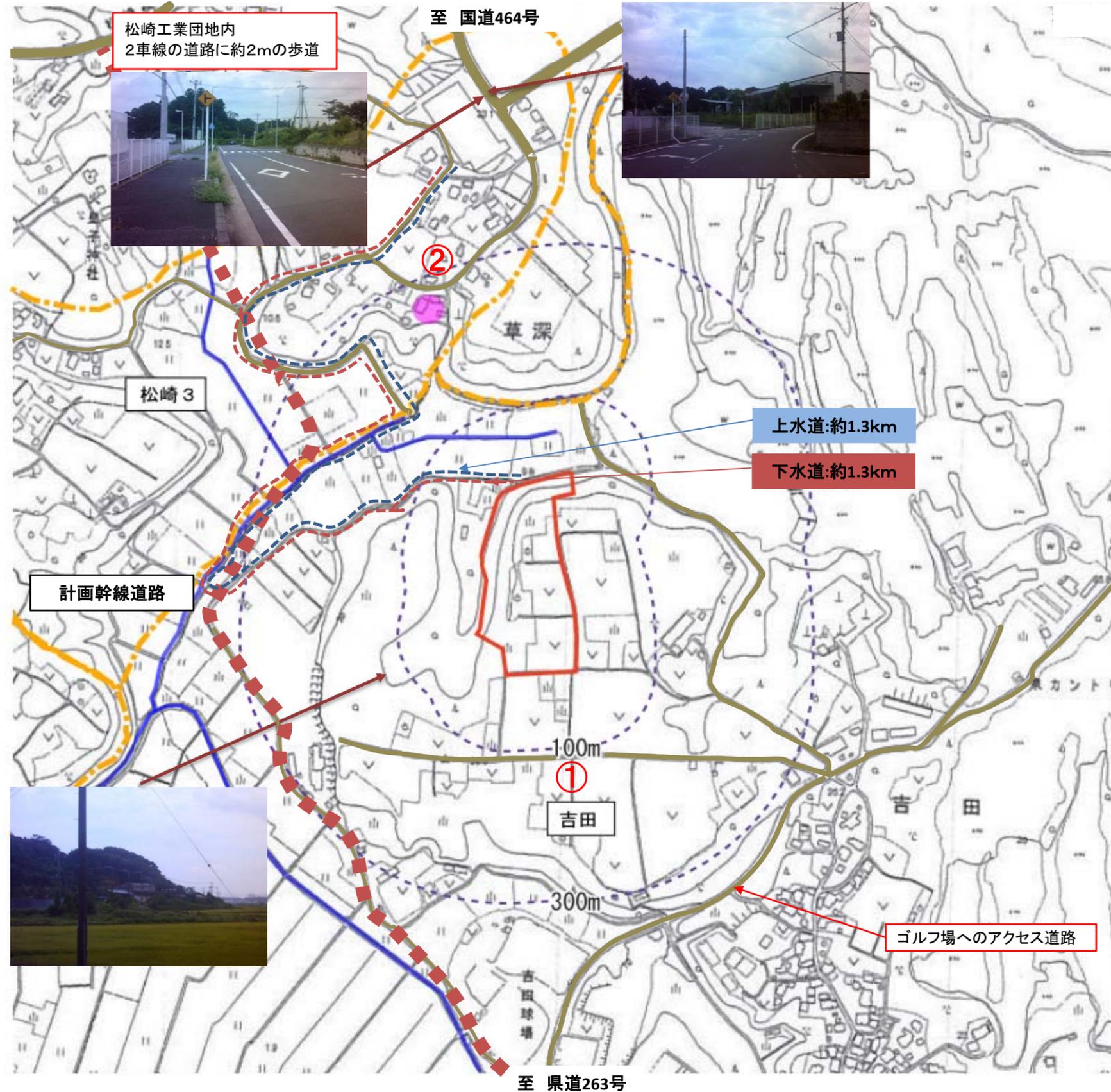




## 武西地区

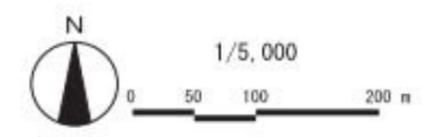
- : 住宅
  - : 学校, 保育所, 図書館
  - : 病院, 診療所, 特別養護老人ホーム
  - 河川および水路
  - - - 町内会等
  - - - 上水道
  - - - 下水道
- 字界
- : 武西
  - : 戸神

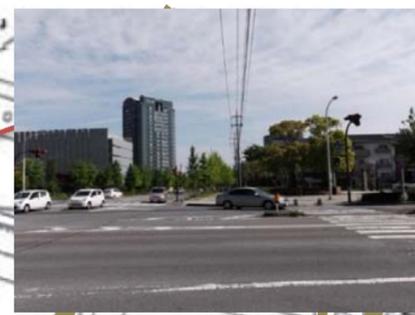
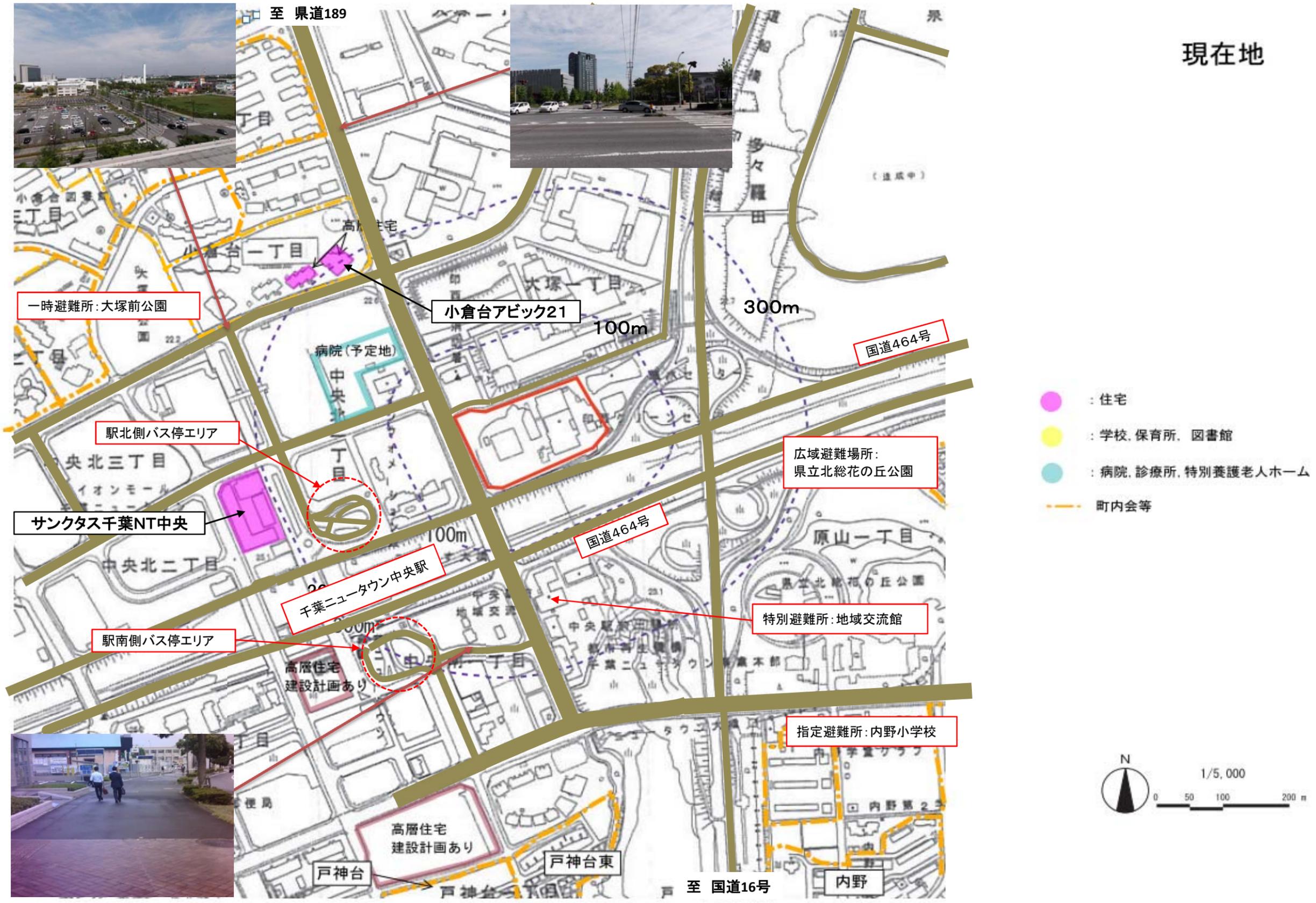




### 吉田地区

- : 住宅
- : 学校, 保育所, 図書館
- : 病院, 診療所, 特別養護老人ホーム
- 河川および水路
- - - 町内会等
- - - 上水道
- - - 下水道

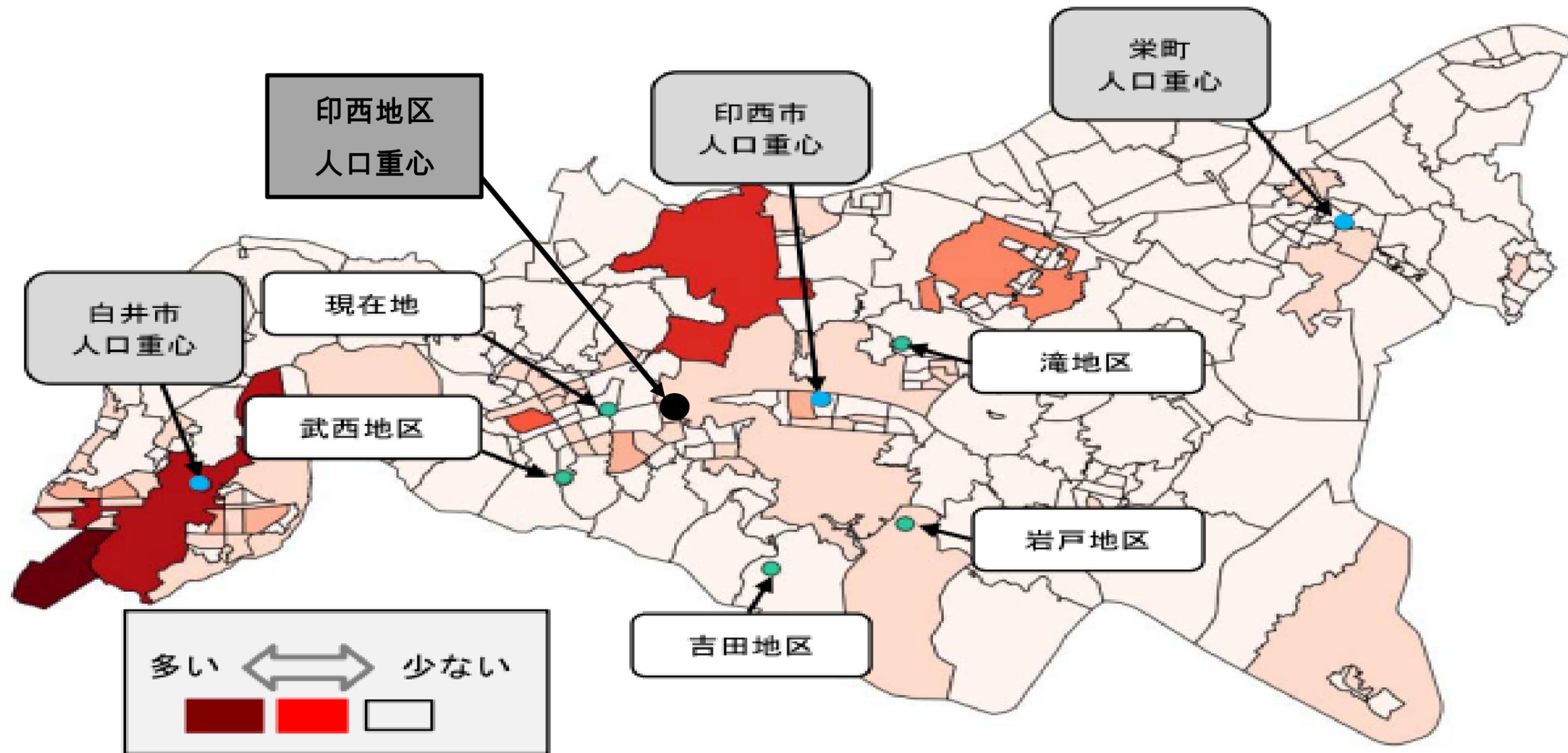




候補地周辺の路線バスルート図



人口重心から各候補地の距離図



	人口重心からの直線距離(Km)			
	印西市から	白井市から	栄町から	印西地区から
岩戸地区	2.9	11.1	9.4	
滝地区	1.7	11.4	7.5	
武西地区	4.4	5.7	13.5	
吉田地区	3.6	9.2	11.6	
現在地	3.4	6.6	12.4	

\* 収集運搬距離の5kmを引いた値です。

